

## 7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

- 
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
  - (2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み
  - (3) 『花のビュー坊プレート』の認知状況
  - (4) 治安が改善していることの認知
  - (5) 居住地域の治安状況
  - (6) 区内の治安が良いと感じる点
  - (7) 区内の治安が悪いと感じる点
  - (8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
  - (9) 駐車時の鍵かけ状況
-



## 7 ビューティフル・ウィンドウズ運動

### (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

問30 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは、「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑止しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

■【知っている】が4割超、「知らない（初めて聞いた）」が5割台半ば

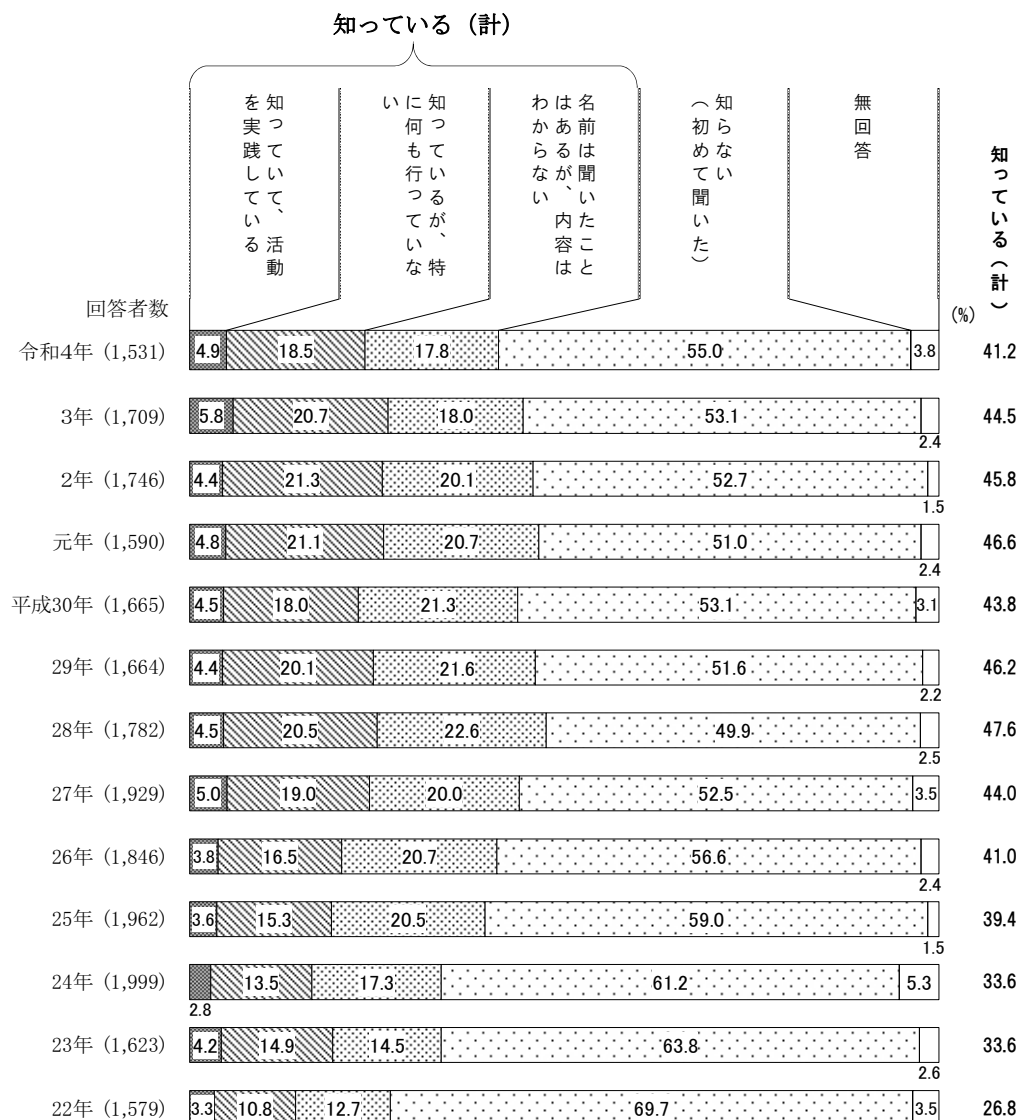
#### ア 単純集計・経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は4.9%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」（18.5%）と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」（17.8%）を合わせた【知っている】は41.2%となっている。

(イ) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知らない（初めて聞いた）」は5割台半ばとなっている。

(ウ) 前回の令和3年調査との比較では、【知っている】が3.3ポイント減少した。

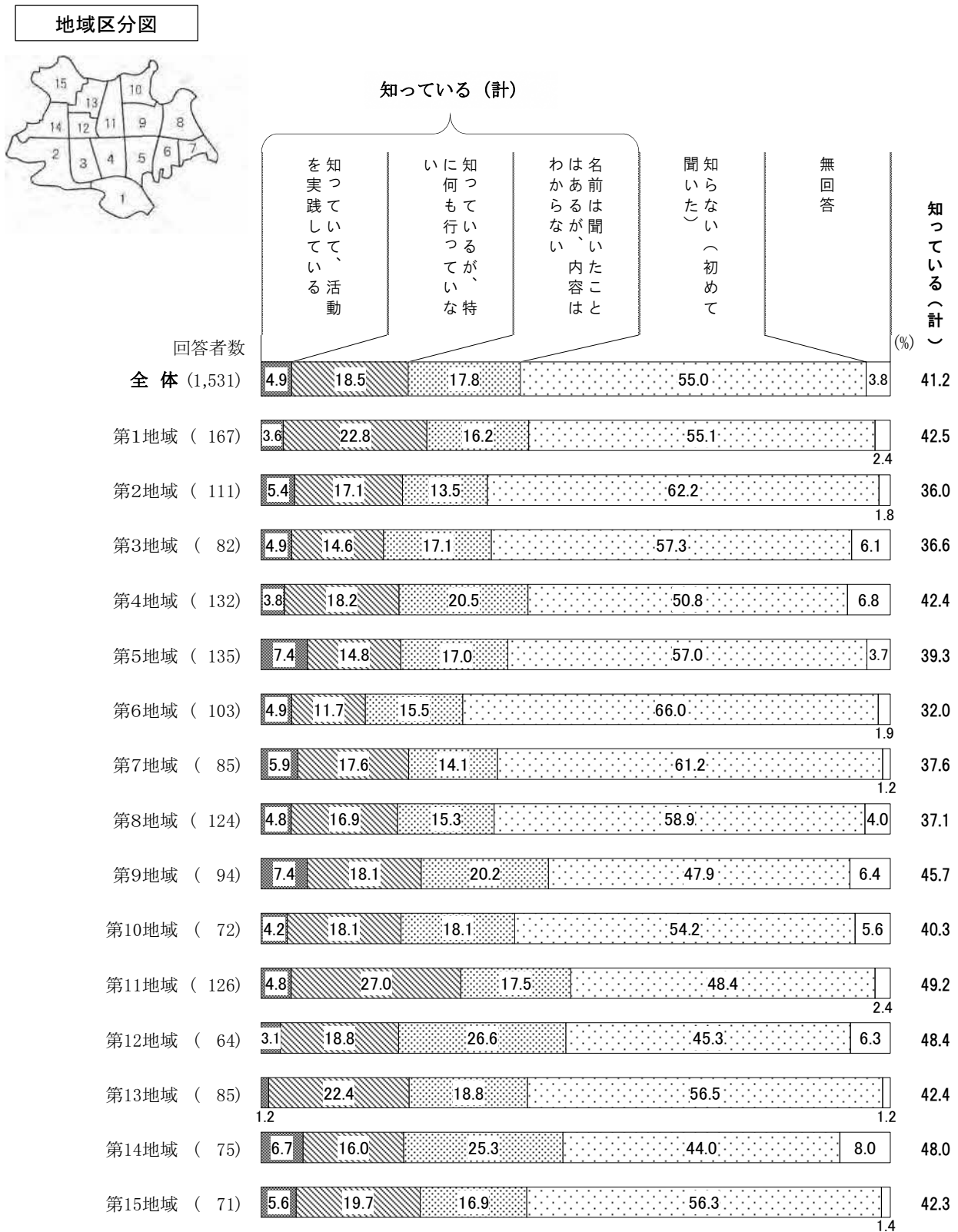
図7-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



イ クロス集計・地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

地域別でみると、【知っている】は、第11地域で49.2%と最も高く、次いで、第12地域(48.4%)、第14地域(48.0%)などとなっている。一方、第6地域で32.0%と最も低くなっている。

図7-1-2 地域別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

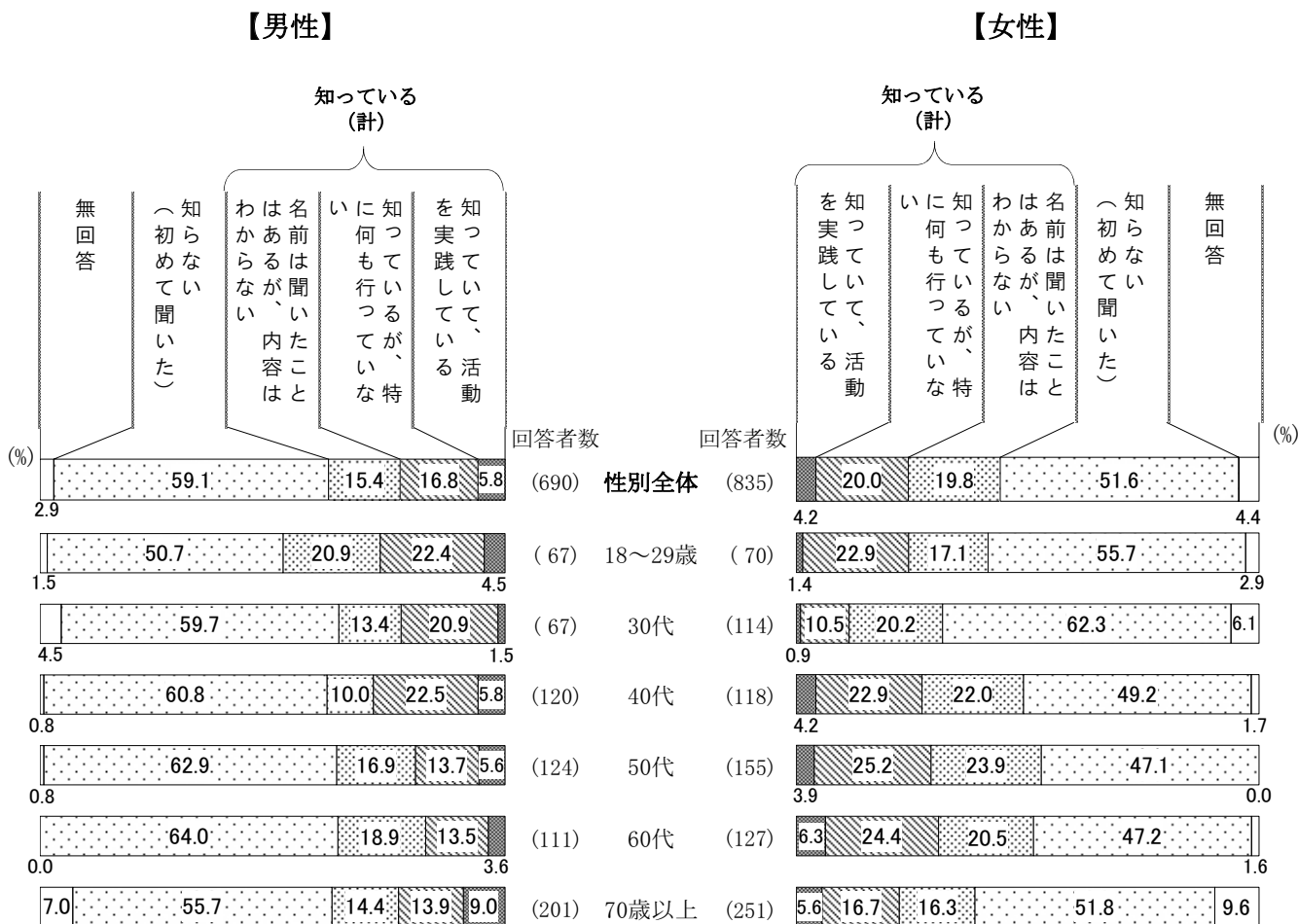


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

(ア) 性別でみると、【知っている】は女性（44.0%）の方が男性（38.0%）より6.0ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別でみると、【知っている】は女性の50代で52.9%と最も高く、次いで、女性の60代が51.2%で続いている。また、女性の30代が31.6%で最も低くなっている。

図7-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



(2) 参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

問31 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関連する取り組みのうち、あなたが現在参加している、もしくは今後参加したいものは何ですか（〇はあてはまるものすべて）。

■「参加していない(今後も参加しない)」が6割台半ば、取り組みは「まちの清掃活動」が13.1%で最多

ア 単純集計・経年比較

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

(ア) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」に関する取り組みのうち、現在参加している、もしくは今後参加したい取り組みを聞いたところ、上位は以下のとおりとなった。

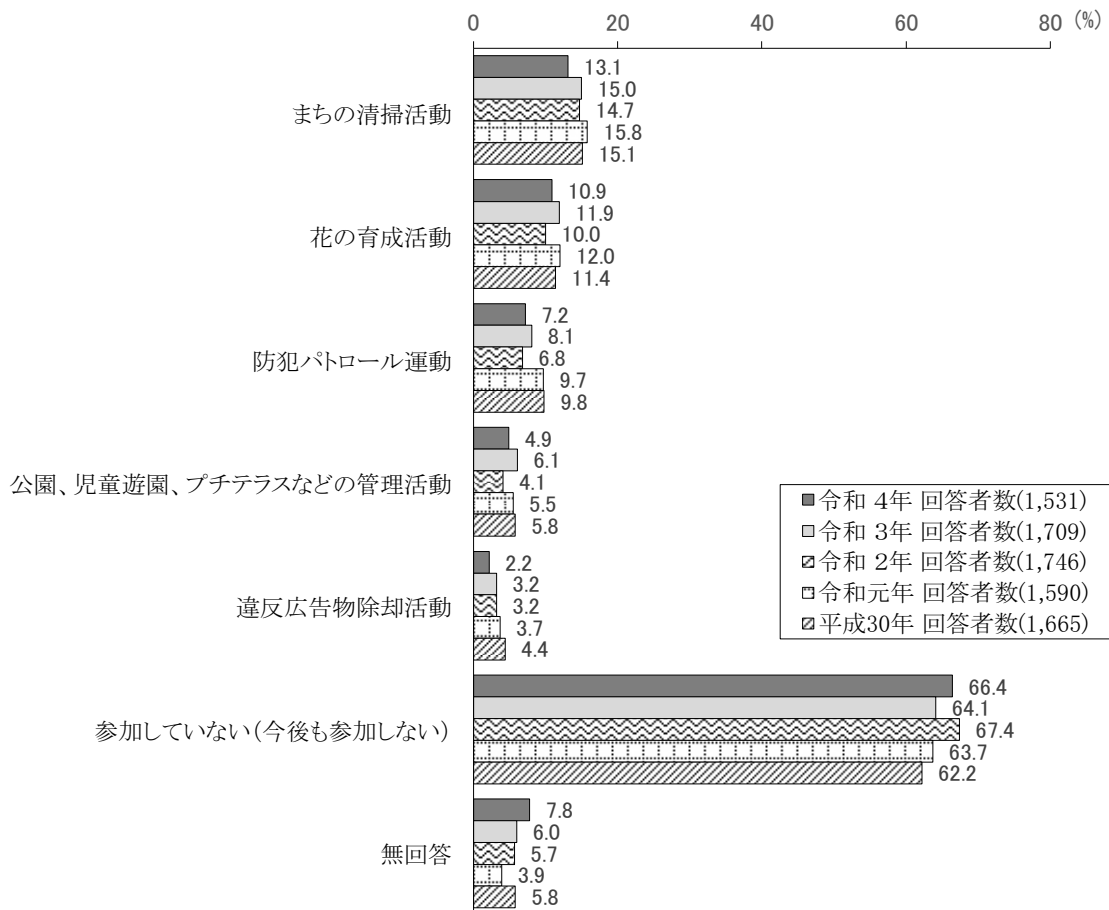
- ① 「まちの清掃活動」(13.1%)
- ② 「花の育成活動」(10.9%)
- ③ 「防犯パトロール運動」(7.2%)

(イ) 取り組みに「参加していない(今後も参加しない)」は66.4%となっている。

(ウ) 前回の令和3年調査との比較では、特に大きな違いはみられない。

図7-2-1 経年比較／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



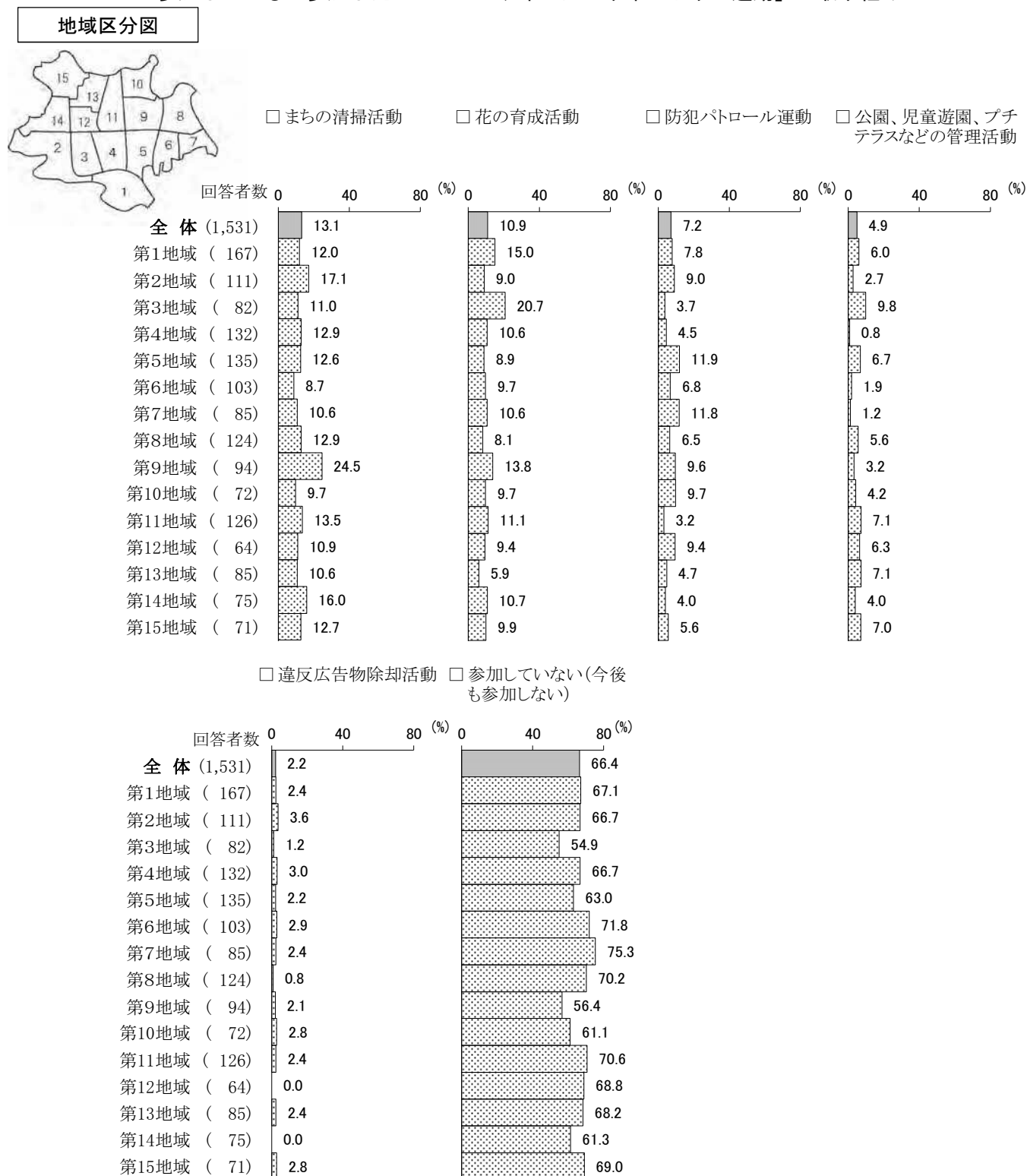
イ クロス集計・地域別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

地域別でみると、「まちの清掃活動」は第9地域で24.5%と最も高く、「花の育成活動」は第3地域で20.7%と最も高くなっている。また、「参加していない（今後も参加しない）」は、第7地域で75.3%と最も高く、一方、第3地域で54.9%と最も低くなっている。

図7-2-2 地域別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



ウ クロス集計・性別、性・年代別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

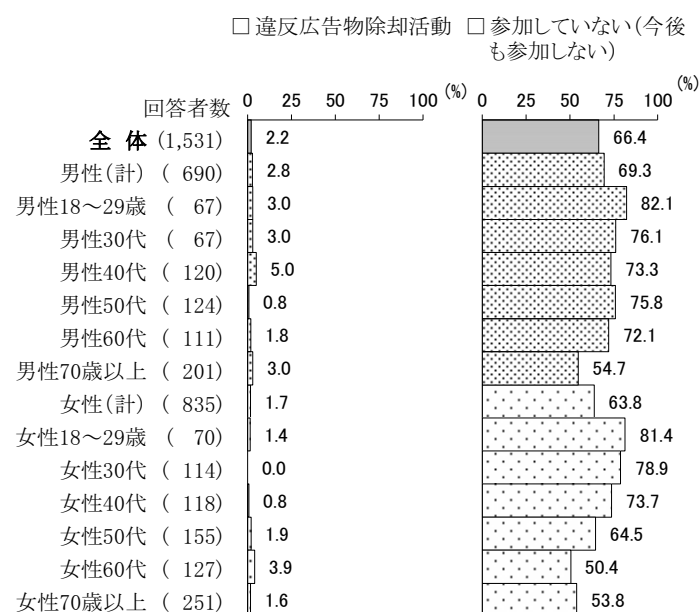
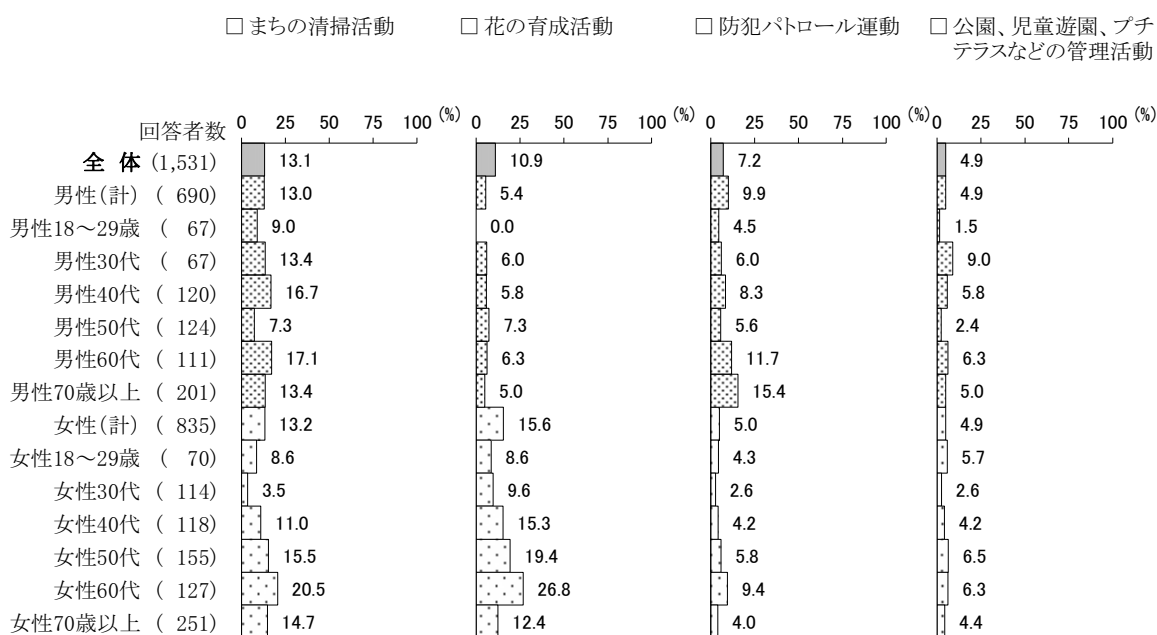
(ア) 性別で見ると、「花の育成活動」は女性(15.6%)の方が男性(5.4%)より10.2ポイント高く、逆に「防犯パトロール運動」は男性(9.9%)の方が女性(5.0%)より4.9ポイント高くなっている。

(イ)「参加していない(今後も参加しない)」を性別で見ると、男性(69.3%)の方が女性(63.8%)より5.5ポイント高くなっている。

(ウ) 性・年代別で見ると、「まちの清掃活動」と「花の育成活動」はともに女性の60代(20.5%・26.8%)で最も高く、「防犯パトロール運動」は男性の70歳以上で15.4%と最も高くなっている。一方、「参加していない(今後も参加しない)」は、男女ともにおおむね年代が下がるほど割合が高くなっており、男女ともに18～29歳(男性82.1%・女性81.4%)で8割強と最も高くなっている。

図7-2-3 性別、性・年代別／

参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



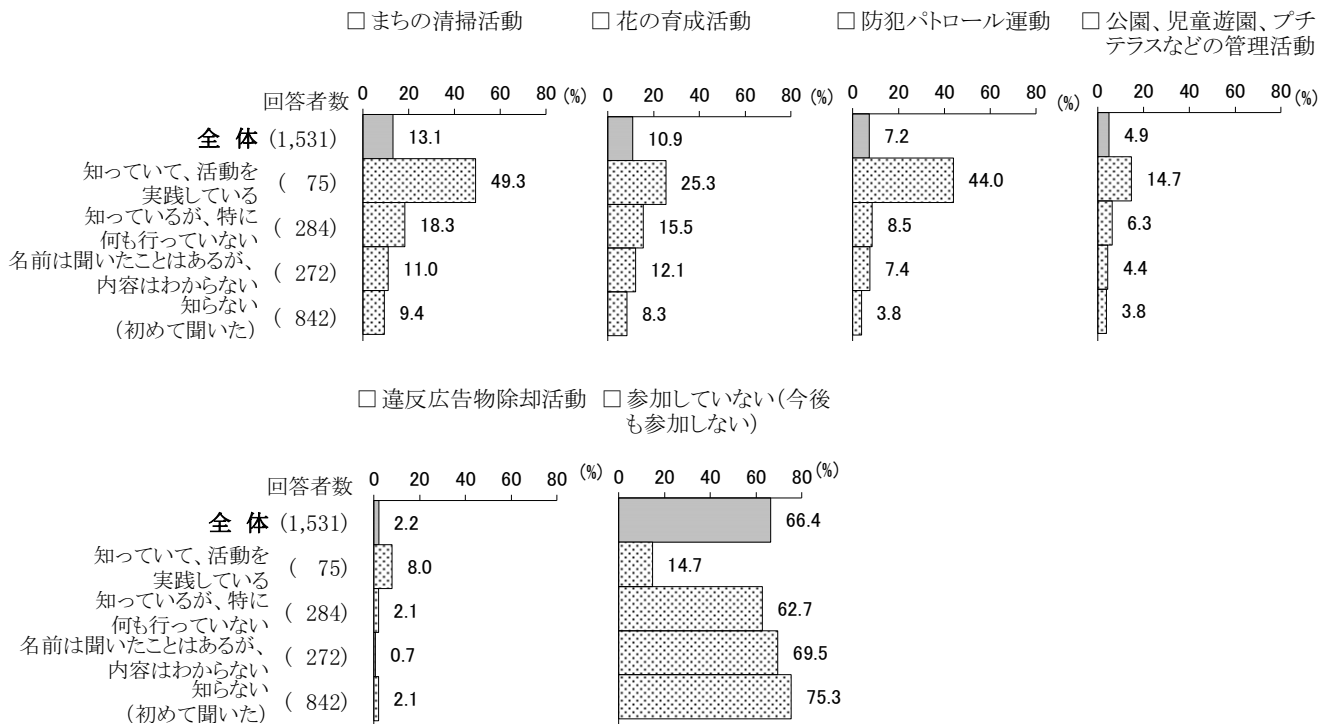


エ クロス集計・「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別

／参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み

「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別にみると、認知・実践レベルが高くなるほど、それぞれの取り組みに対する参加率、参加意向が高くなっており、その傾向は〈知っている、活動を実践している〉層でとくに顕著で、「防犯パトロール運動」(44.0%)で36.8ポイント、「まちの清掃活動」(49.3%)で36.2ポイント、「花の育成活動」(25.3%)で14.4ポイント、「それぞれ全体に比べて高くなっている。

図7-2-4 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況別／  
参加している・参加したい「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の取り組み



(3) 『花のビュー坊プレート』の認知状況

問32 あなたの行動範囲で、「花のあるまちかど事業（※）」の『花のビュー坊プレート』を見たことがありますか（○は1つだけ）。

※「花のあるまちかど事業」とは、玄関先や店先で鉢植えやプランターを飾ったり、公園や公共施設などの花壇で花を育てることにより、まちを彩ることと、花の手入れを行う際の人の目で犯罪を抑止しようとする事業です。植木鉢などに『花のビュー坊プレート』をさして、事業をアピールしています。

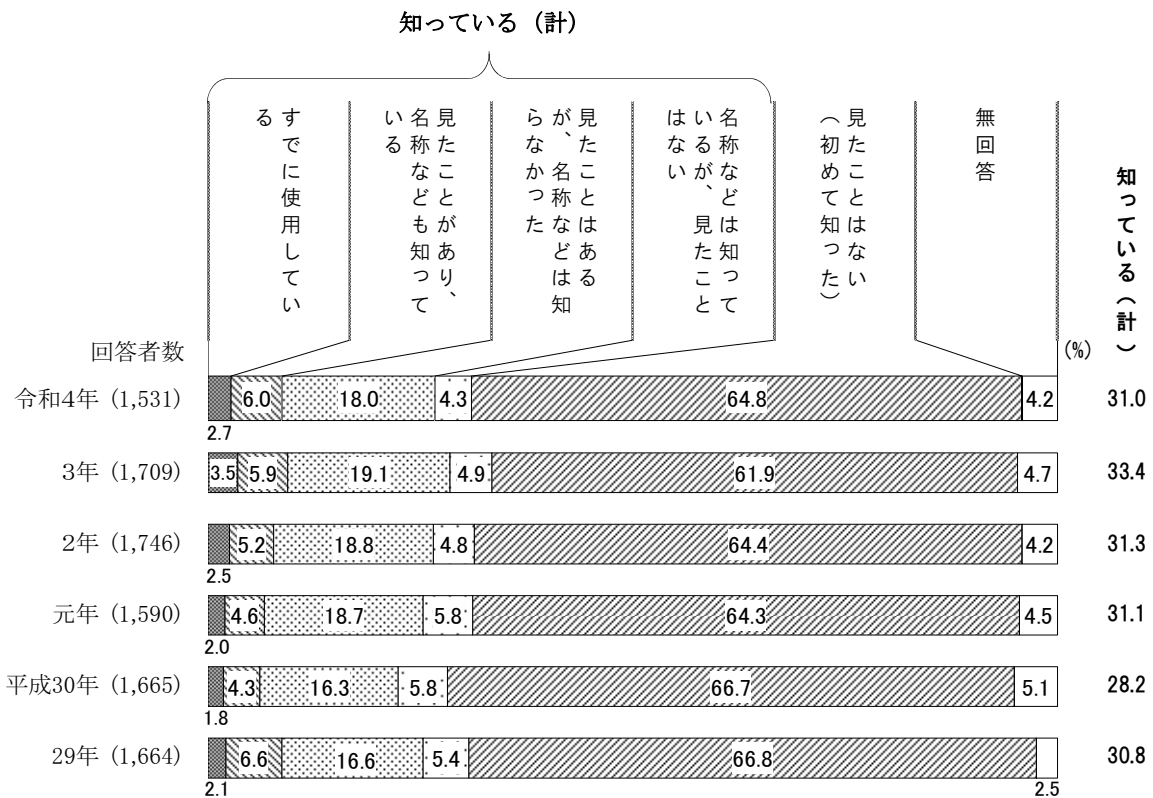
■「見たことはない（初めて知った）」が6割台半ばと変わらず最高

ア 単純集計・経年比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況

(ア) 『花のビュー坊プレート』を「すでに使用している」は2.7%で、これに「見たことがあります、名称なども知っている」(6.0%)、「見たことはあるが、名称などは知らなかった」(18.0%)、「名称などは知っているが、見たことはない」(4.3%)を合わせた【知っている】は31.0%となっている。一方、「見たことはない（初めて知った）」は64.8%となっている。

(イ) 経年でみると、【知っている】は前回調査(33.4%)から2.4ポイントの微減となっている。

図7-3-1 経年比較／『花のビュー坊プレート』の認知状況

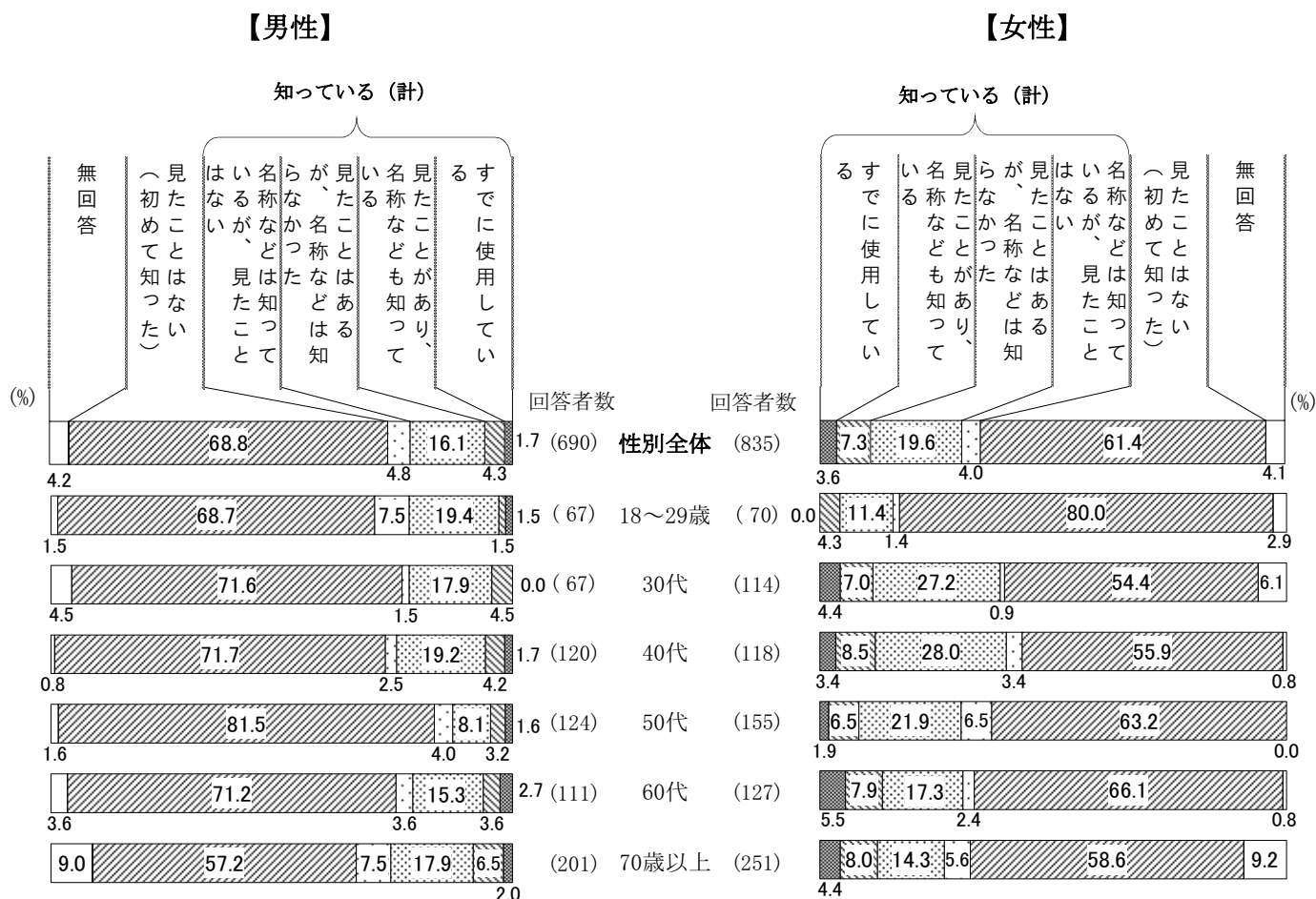


イ クロス集計・性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況

(ア) 『花のビュー坊プレート』の認知状況を性別で見ると、【知っている】は女性（34.5%）の方が男性（27.0%）より7.5ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【知っている】は、女性の40代で43.2%と最も高く、次いで、女性の30代で39.5%となっている。一方、男性の50代で16.9%と最も低くなっている。

図7-3-2 性別、性・年代別／『花のビュー坊プレート』の認知状況



(4) 治安が改善していることの認知

問33 あなたは、現在の足立区内の刑法犯認知件数(※)が、ピークであった平成13年と比較して1万件以上、減少していることを知っていますか(○は1つだけ)。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

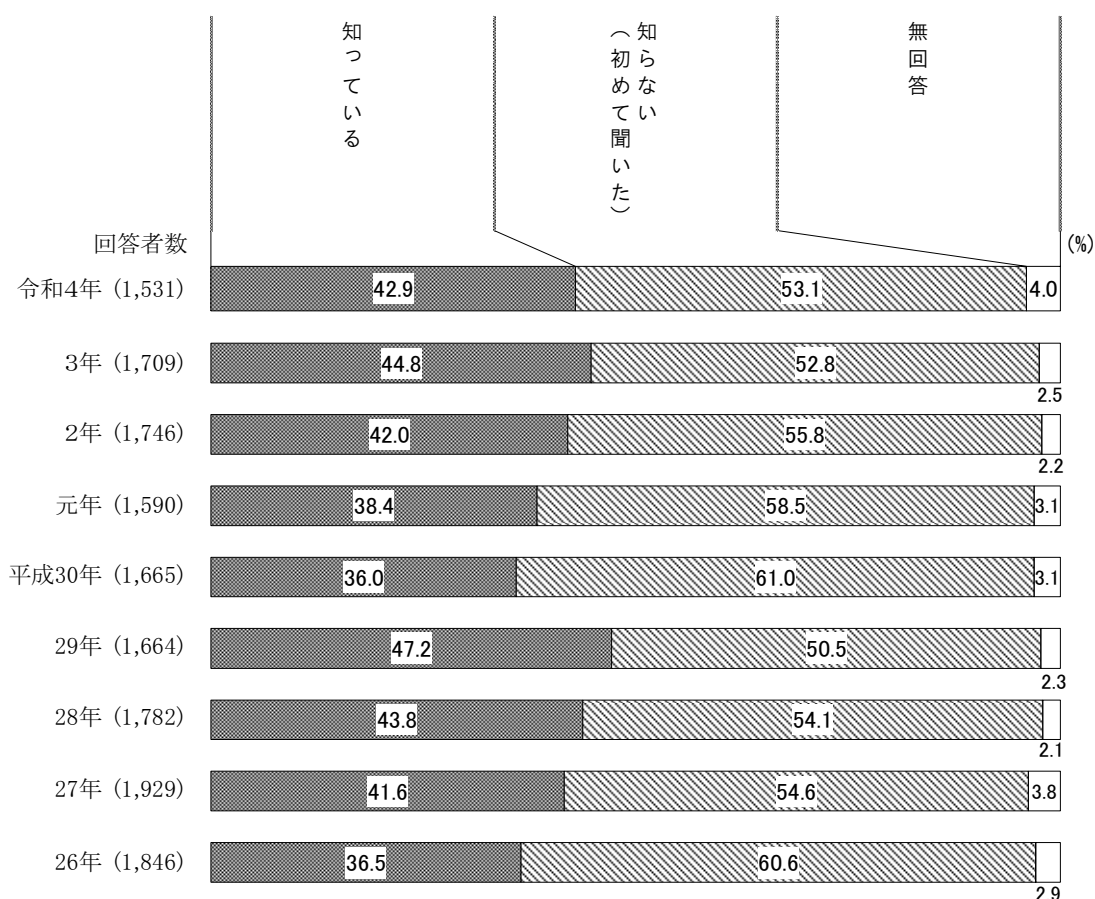
■ 「知っている」が4割強で、「知らない(初めて聞いた)」が5割台半ば近く

ア 単純集計・経年比較/治安が改善していることの認知

(ア) 足立区内の刑法犯認知件数がピークであった平成13年と比較して1万件以上減少していることについて、「知っている」は42.9%で、「知らない(初めて聞いた)」は53.1%となっている。

(イ) 経年でみると、「知っている」は設問文が大きく変わった平成30年以降は増加を続けていたが、今回調査で微減となった。

図7-4-1 経年比較/治安が改善していることの認知



※ 平成29年度までの設問文は、「あなたは、平成○年の足立区内の刑法犯認知件数(※)が減少し、治安が改善していることを知っていますか。

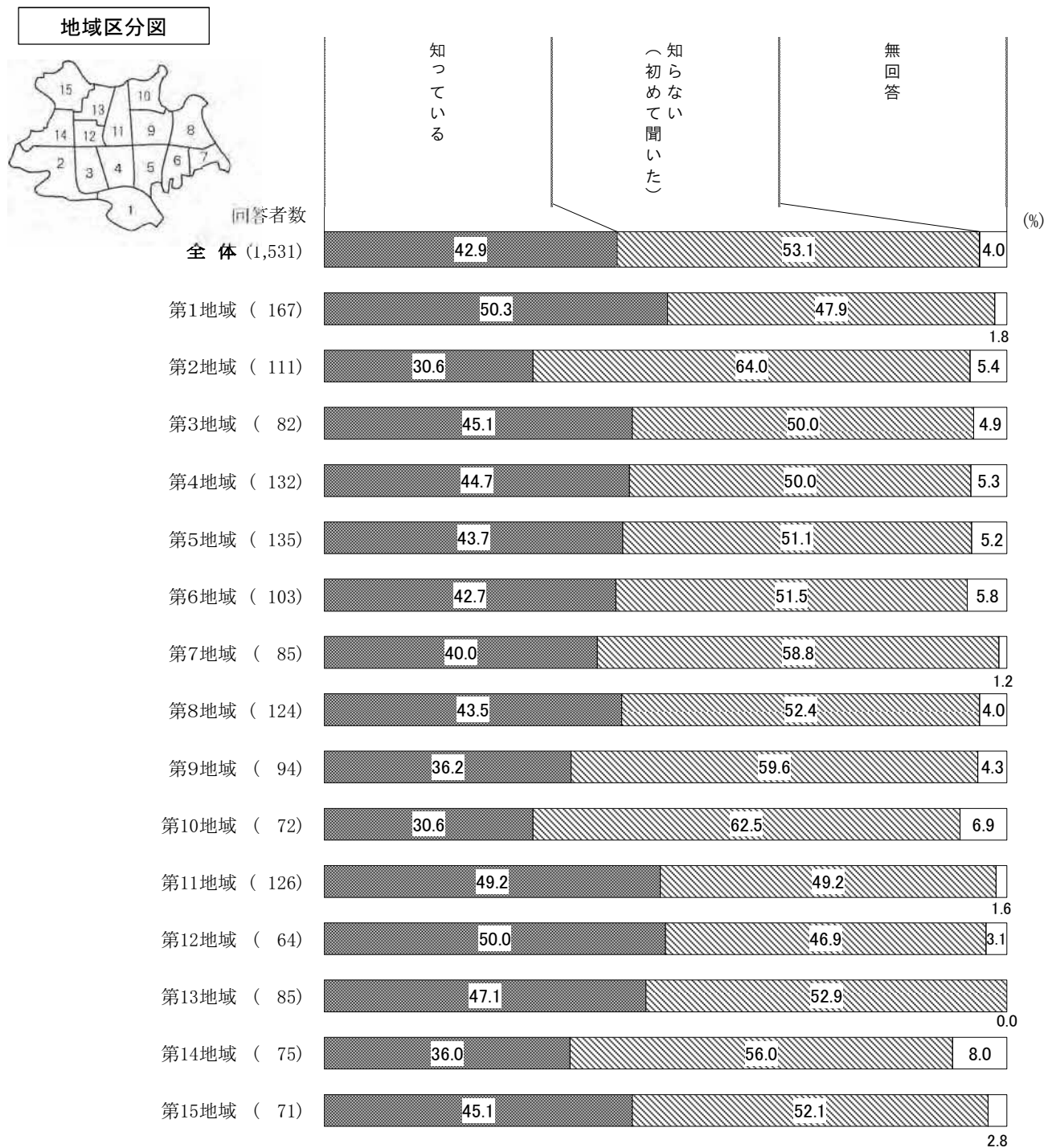
(※)は質問文に続き「警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。」の説明文あり。

※ 平成30年度と令和元年度の設問文は、「あなたは、足立区内の刑法犯認知件数(※)がピーク時から1万件以上、減少していることをご存知ですか。」で聴取。なお、(※)の説明文は今年度と同じで変更なし。

イ クロス集計・地域別／治安が改善していることの認知

地域別でみると、「知っている」は第1地域で50.3%と最も高く、次いで第12地域(50.0%)が5割で続いた。一方、「知らない(初めて聞いた)」は第2地域(64.0%)と第10地域(62.5%)の2地域で6割台と高くなっている。

図7-4-2 地域別／治安が改善していることの認知

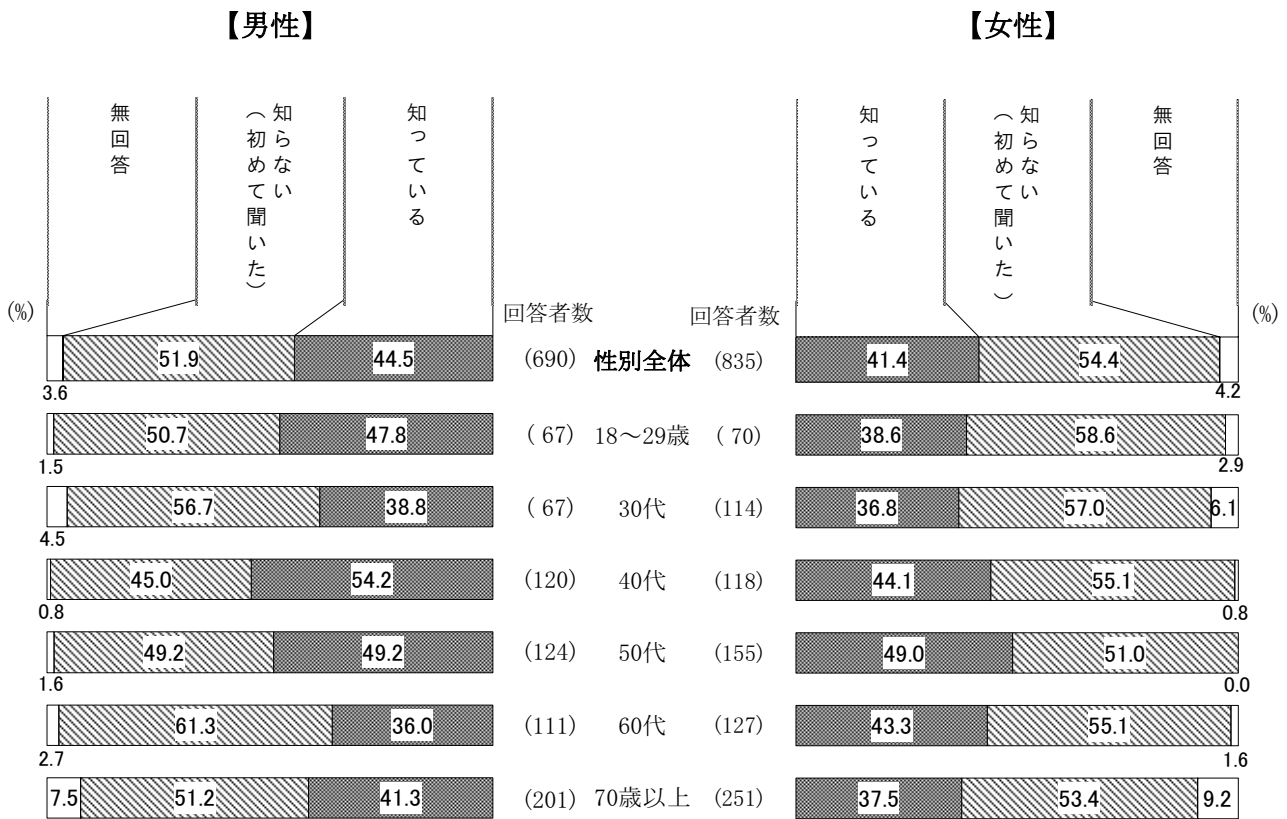


ウ クロス集計・性別、性・年代別／治安が改善していることの認知

(ア) 性別で見ると、「知っている」は、男性（44.5%）の方が女性（41.4%）より3.1ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「知っている」は、男性の40代が54.2%で最も高く、次いで男性の50代（49.2%）と女性の50代（49.0%）が約5割で続いている。一方、「知らない（初めて聞いた）」は男性の60代で6割強と最も高くなっている。

図7-4-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知



（5）居住地域の治安状況

問34 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか  
（○は1つだけ）。

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

■ 【良い】は6割台半ばで最高値を更新し、【悪い】は平成23年調査開始以降で初めて2割を下回る

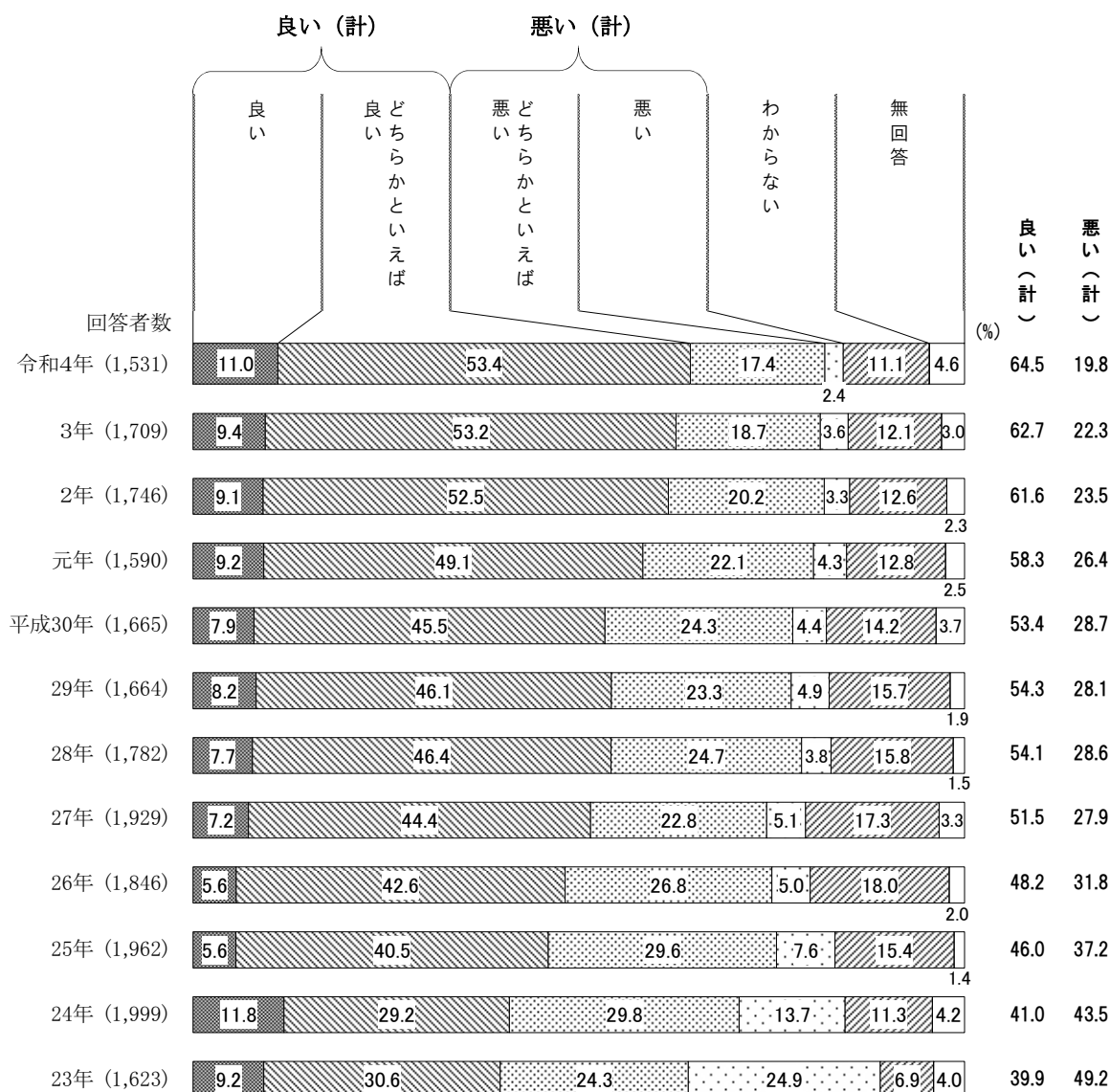
ア 単純集計・経年比較／居住地域の治安状況

（ア）住んでいる地域の治安について、「良い」が11.0%で、これに「どちらかといえば良い」（53.4%）を合わせた【良い】は6割台半ばとなっている。

（イ）住んでいる地域の治安について、「どちらかといえば悪い」（17.4%）と「悪い」（2.4%）を合わせた【悪い】は2割弱となっている。

（ウ）経年でみると、【良い】は、前回の令和3年調査の比較では大きな違いはないものの、平成23年調査以降漸増を続けている。一方、【悪い】（19.8%）は平成23年調査以降初めて2割を下回った。

図7-5-1 経年比較／居住地域の治安状況



イ クロス集計・地域別／居住地域の治安状況

地域別でみると、【良い】は第1地域で76.6%と最も高く、次いで第7地域（74.1%）が続いている。一方、【悪い】は第13地域で32.9%と最も高くなっている。

図7-5-2 地域別／居住地域の治安状況

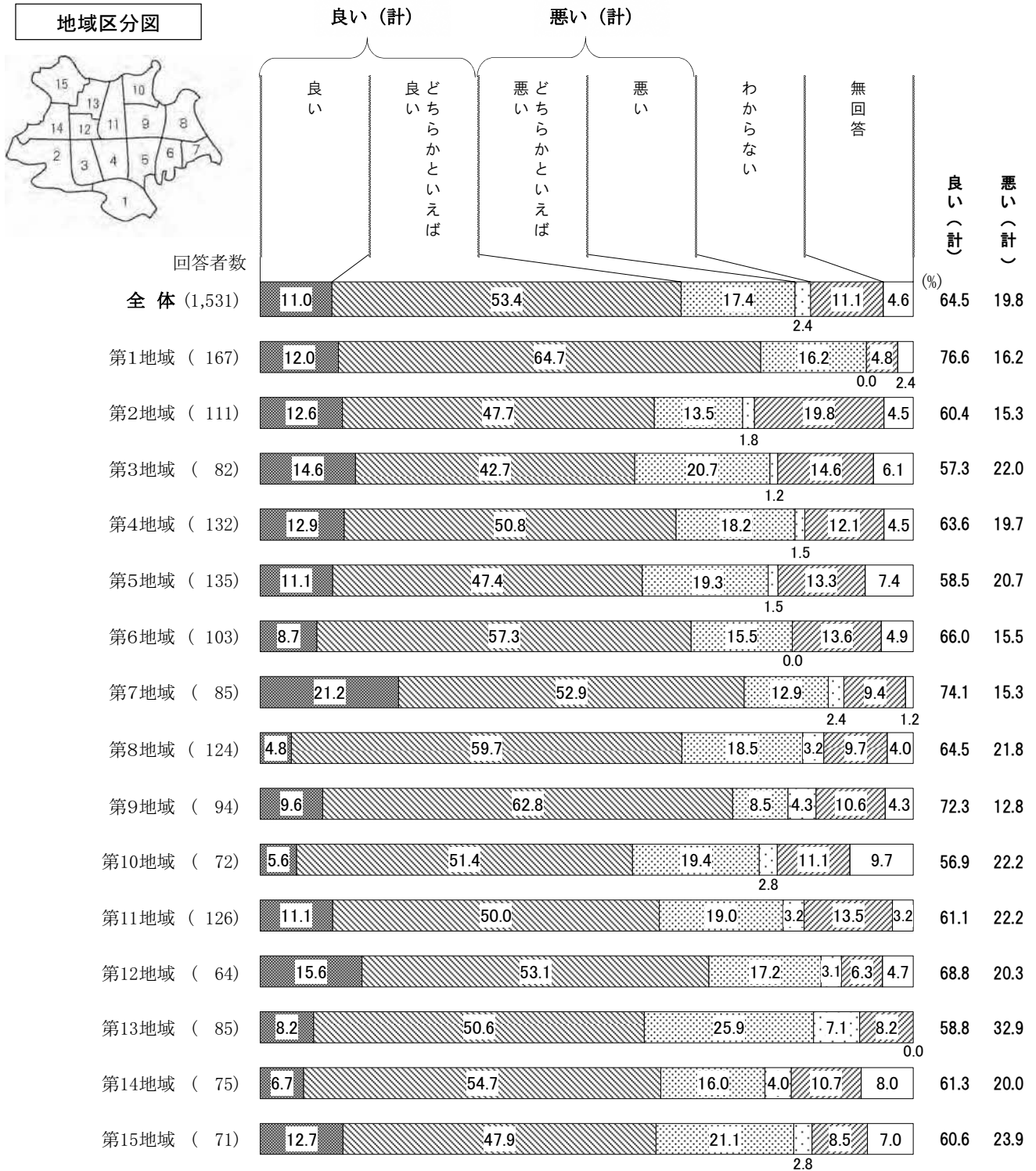
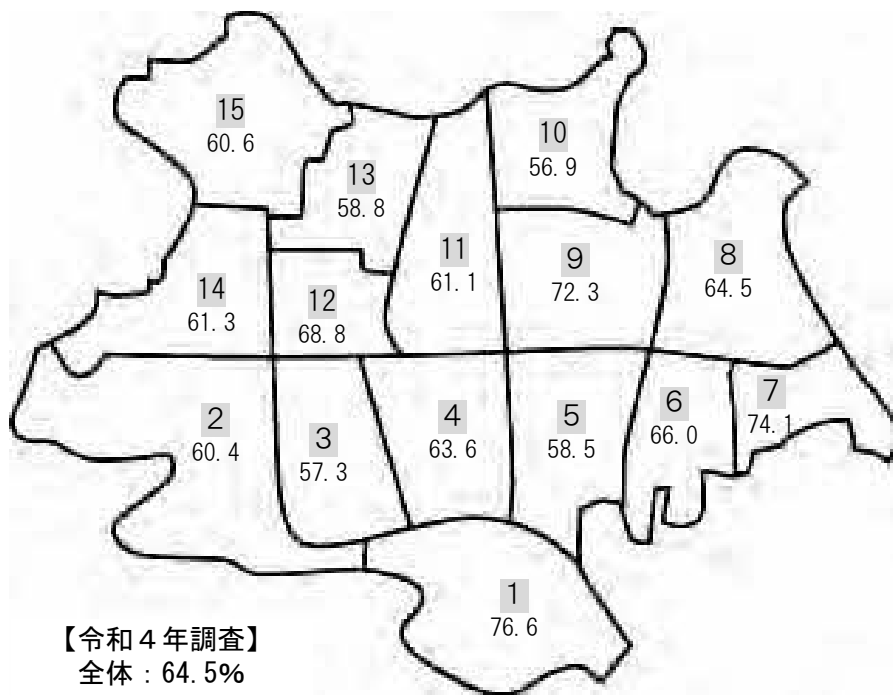
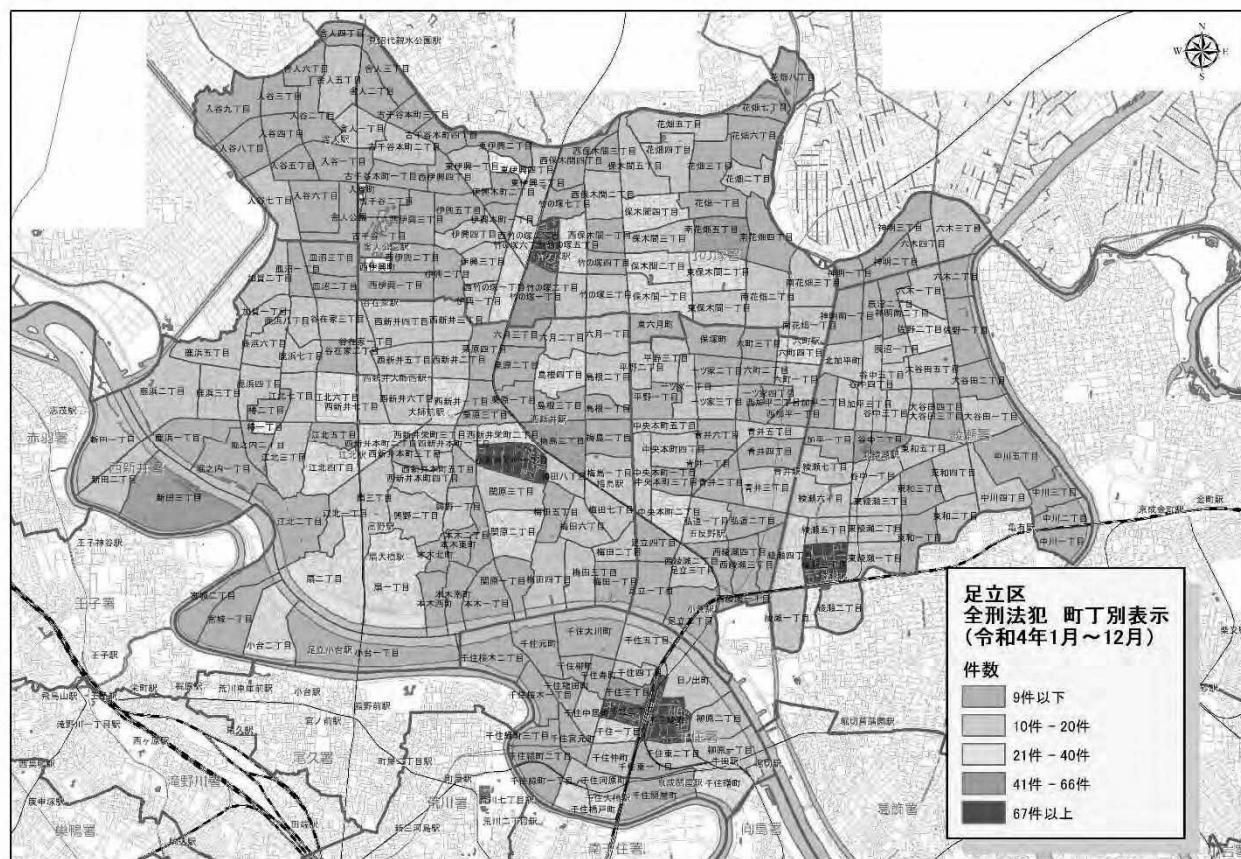




図7-5-3 地域区分図／居住地域の治安状況  
 （上段：地域番号、下段：治安が【良い】と答えた回答者の割合％）



【参考資料】区内全刑法犯認知件数（令和4年1月～12月）

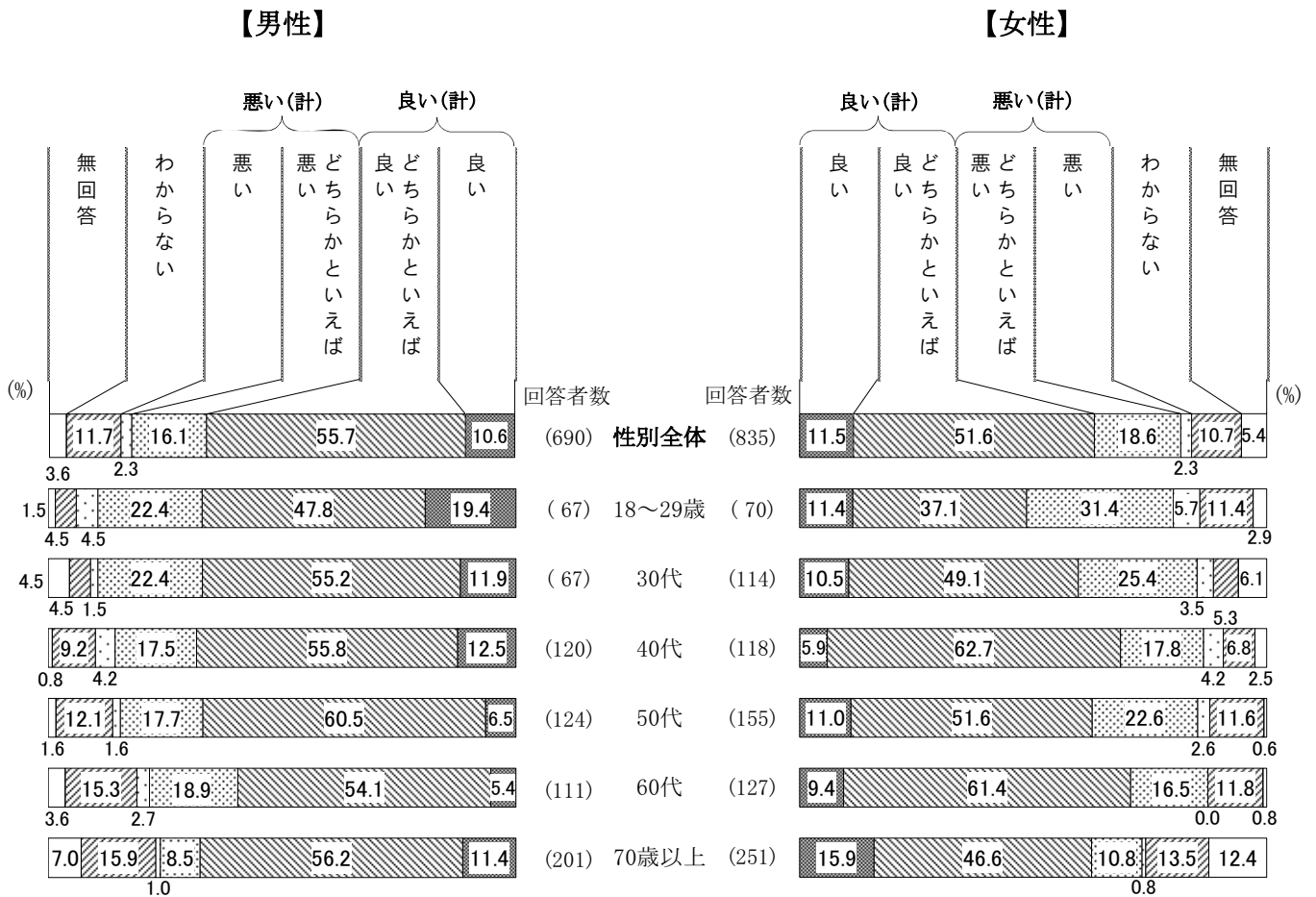


ウ クロス集計・性別、性・年代別／居住地域の治安状況

(ア) 性別で見ると、【良い】は男性（66.2%）の方が女性（63.1%）より3.1ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、【良い】は、女性の60代で70.9%と最も高くなっている。一方、【悪い】は女性の18～29歳で37.1%と最も高くなっている。

図7-5-4 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



(6) 区内の治安が良いと感じる点

問34で「1 良い」または「2 どちらかといえば良い」とお答えの方に

問34-1 どのような点で治安が良いと感じますか（〇は2つまで）。

■ “身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから” が4割台半ばと最も高いものの漸減傾向

ア 単純集計・経年比較／区内の治安が良いと感じる点

(ア) 居住地域の治安を【良い】と評価した人に聴いた理由の上位は、以下のとおりとなっている。

- ① 「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」(46.6%)
- ② 「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」(32.6%)
- ③ 「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」(24.8%)

(イ) 経年でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は前回調査(45.9%)から微増したものの、平成25年調査から漸減傾向が続いており、「テレビや新聞などで、お住まいの地域における犯罪発生ニュースが少ないから」は令和2年調査から減少が続いている。一方、「安全・安心パトロールカー(青パト車)など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は令和元年調査(14.3%)から増加を続け9.0ポイントの増加となっている。

図7-6-1-① 経年比較／区内の治安が良いと感じる点

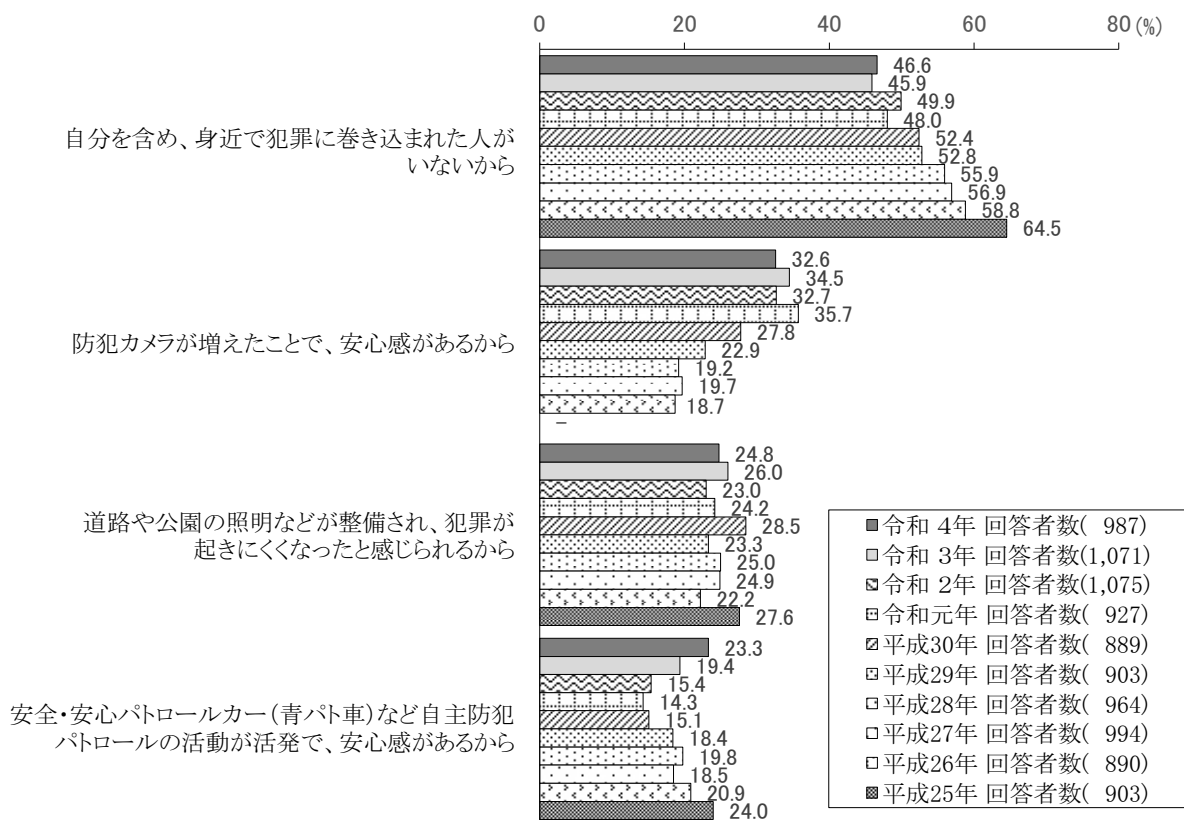
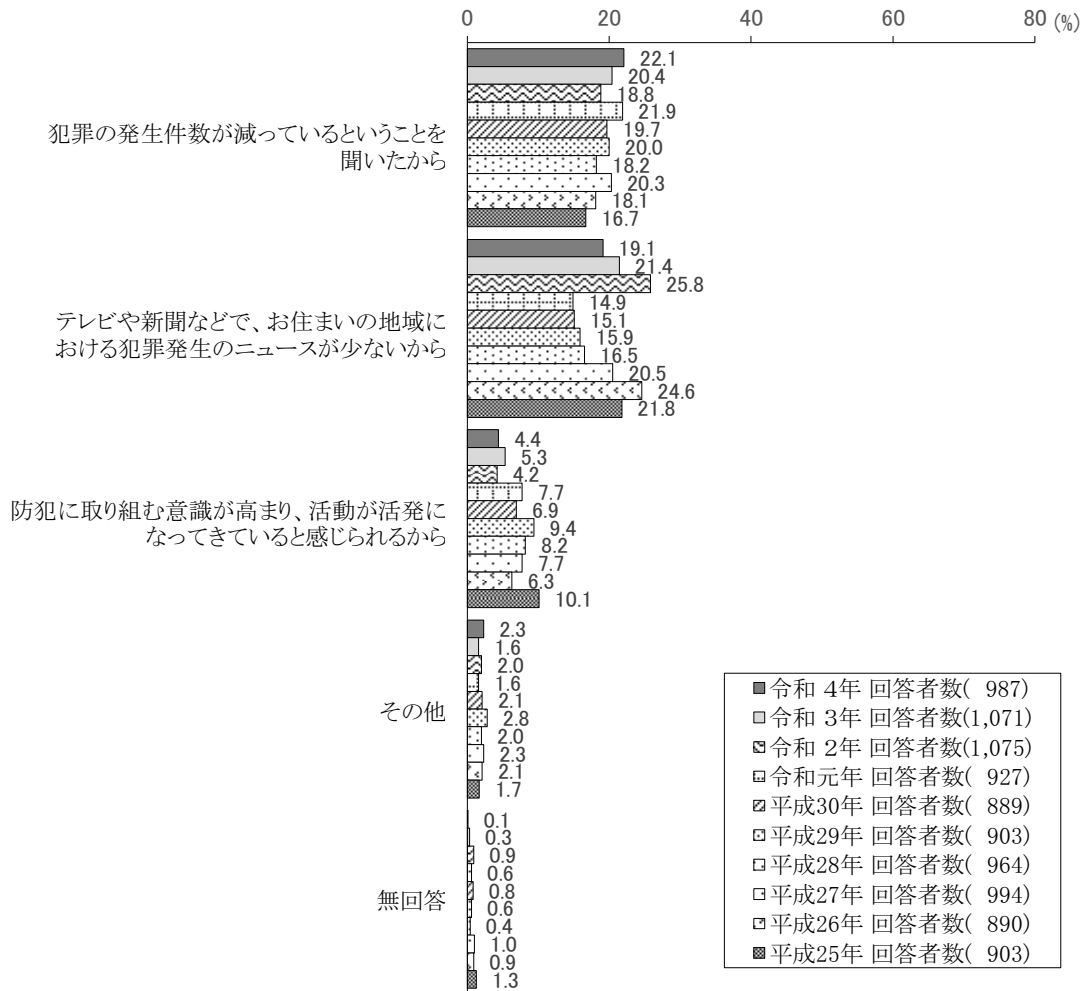


図7-6-1-② 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



- ※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、平成26年度新設。
- ※「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は、令和元年度までは「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」。
- ※「防犯に取り組む意識が高まり、活動が活発になってきていると感じられるから」は、令和元年度までは「犯罪に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」、平成25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。
- ※「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は、令和3年度までは「青パト車など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」。

イ クロス集計・地域別／区内の治安が良いと感じる点

地域別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は第7地域で57.1%と最も高くなっている。また、「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は第12地域（43.2%）で、「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくくなったと感じられるから」は第3地域（42.6%）で、「安全・安心パトロールカー（青パト車）など自主防犯パトロールの活動が活発で、安心感があるから」は第9地域（38.2%）でそれぞれ最も高くなっている。

地域区分図

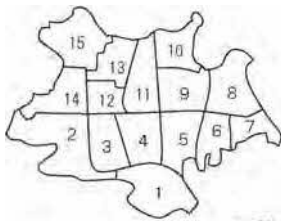
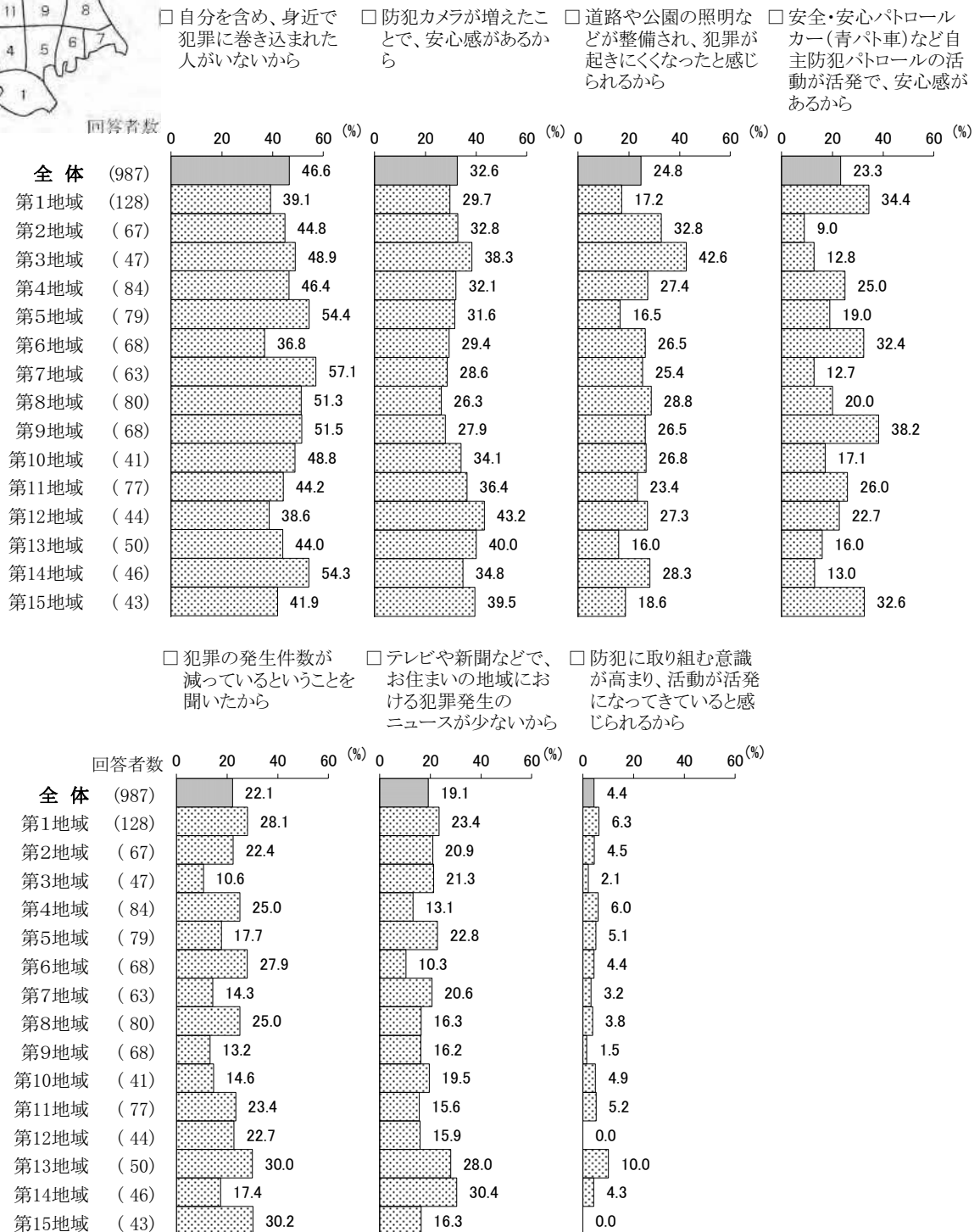


図7-6-2 地域別／区内の治安が良いと感じる点



(7) 区内の治安が悪いと感じる点

問34で「3 どちらかといえば悪い」または「4 悪い」とお答えの方に  
問34-2 どのような点で治安が悪いと感じますか（○は2つまで）。

■ “生活に身近な犯罪が多発していると聞いた” が4割台半ば近くで1位

ア 単純集計・経年比較／区内の治安が悪いと感じる点

(ア) 居住地域の治安が【悪い】と評価した人に聴いた理由の上位は以下のとおりとなっている。

- ① 「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」 (43.6%)
- ② 「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」 (30.0%)
- ③ 「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」 (27.1%)

(イ) 経年でみると、「隣近所の連帯感がなくなり、相互に安全を守る意識が欠けているから」は前回調査から3.5ポイント増加している。一方、「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は前回調査から5.4ポイント減少し、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」も前回調査から3.5ポイント減少している。

図7-7-1-① 経年比較／区内の治安が悪いと感じる点

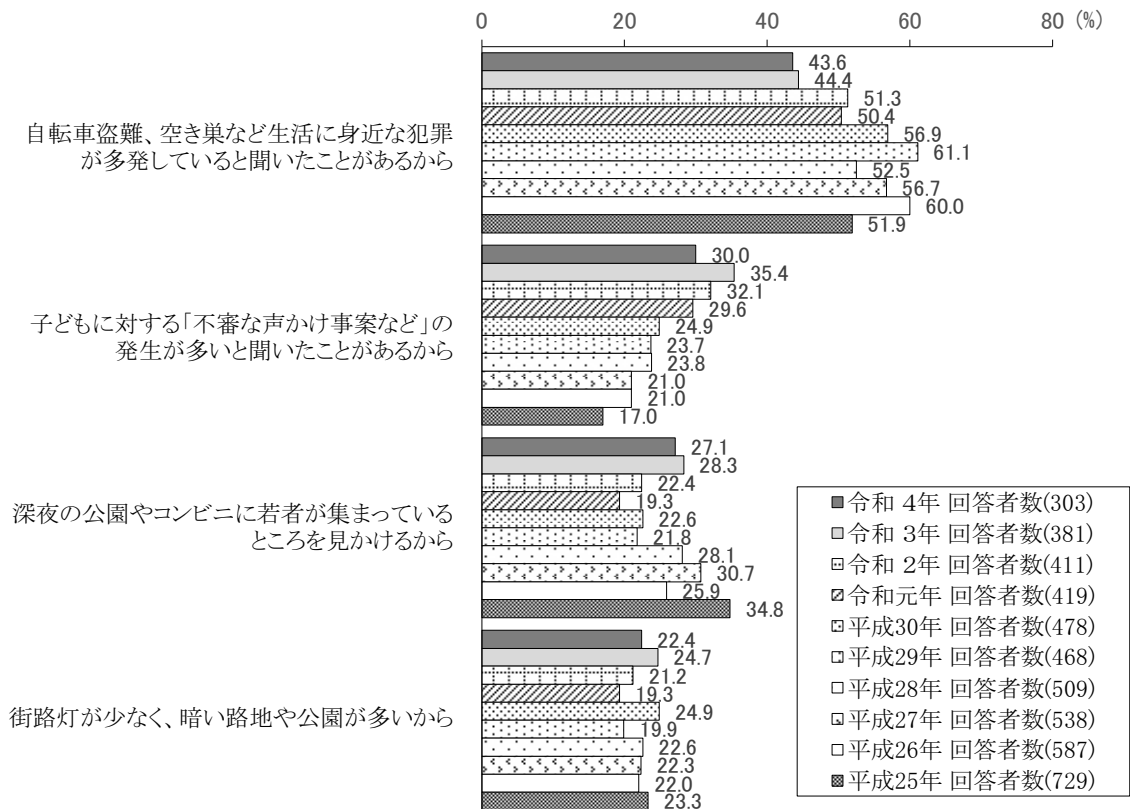
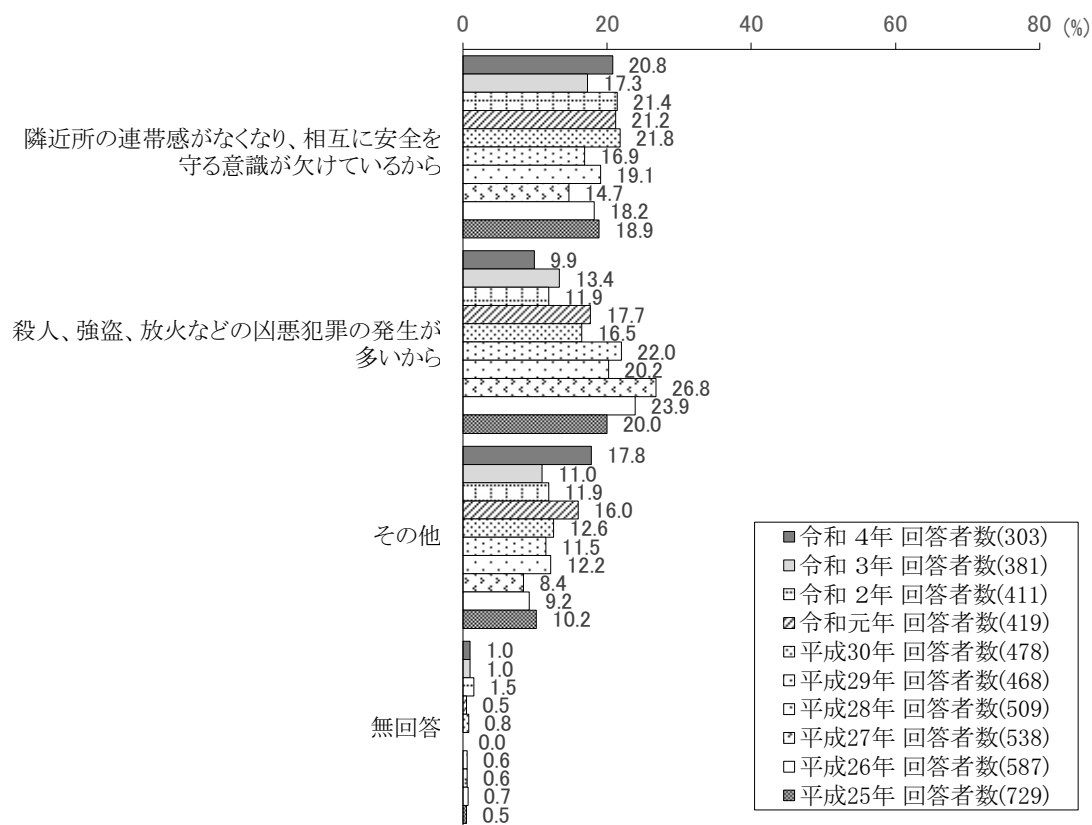


図7-7-1-② 経年比較／区内の治安が悪いと感じる点



※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、平成25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。

※「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は、平成25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

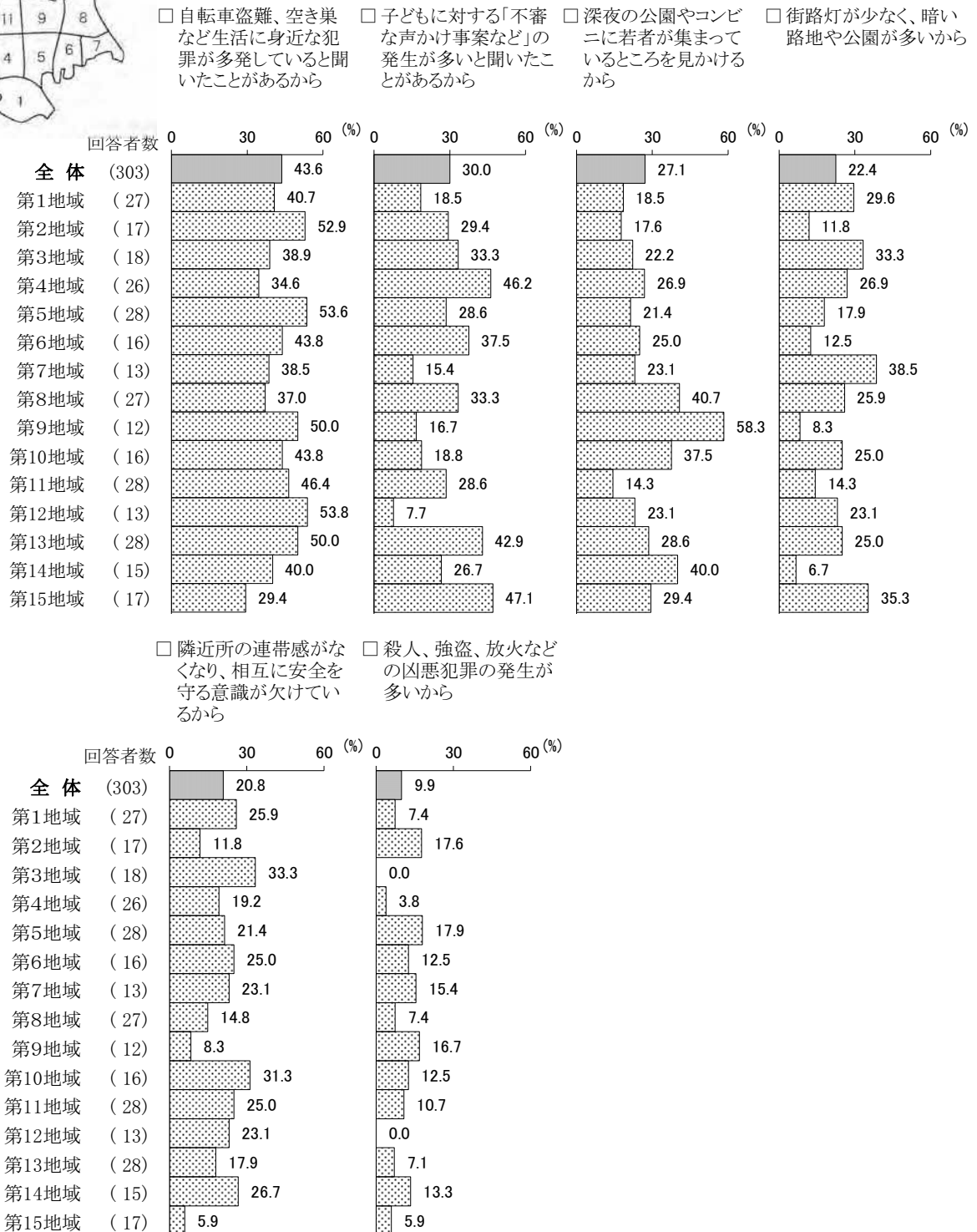
イ クロス集計・地域別／区内の治安が悪いと感じる点

地域別でみると、多くの地域で回答者数が少ないことから、参考値としてみる必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は第5地域、第12地域で高くなっている。「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は第4地域、第15地域で高くなっている。また、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は第9地域で高くなっている。

地域区分図



図7-7-2 地域別／区内の治安が悪いと感じる点





ウ クロス集計・性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点

(ア) 性別でみると男性の方が女性よりも高い項目

a 「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」

(+12.8ポイント)

b 「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」

(+7.0ポイント)

(イ) 性別でみると女性の方が男性よりも高い項目

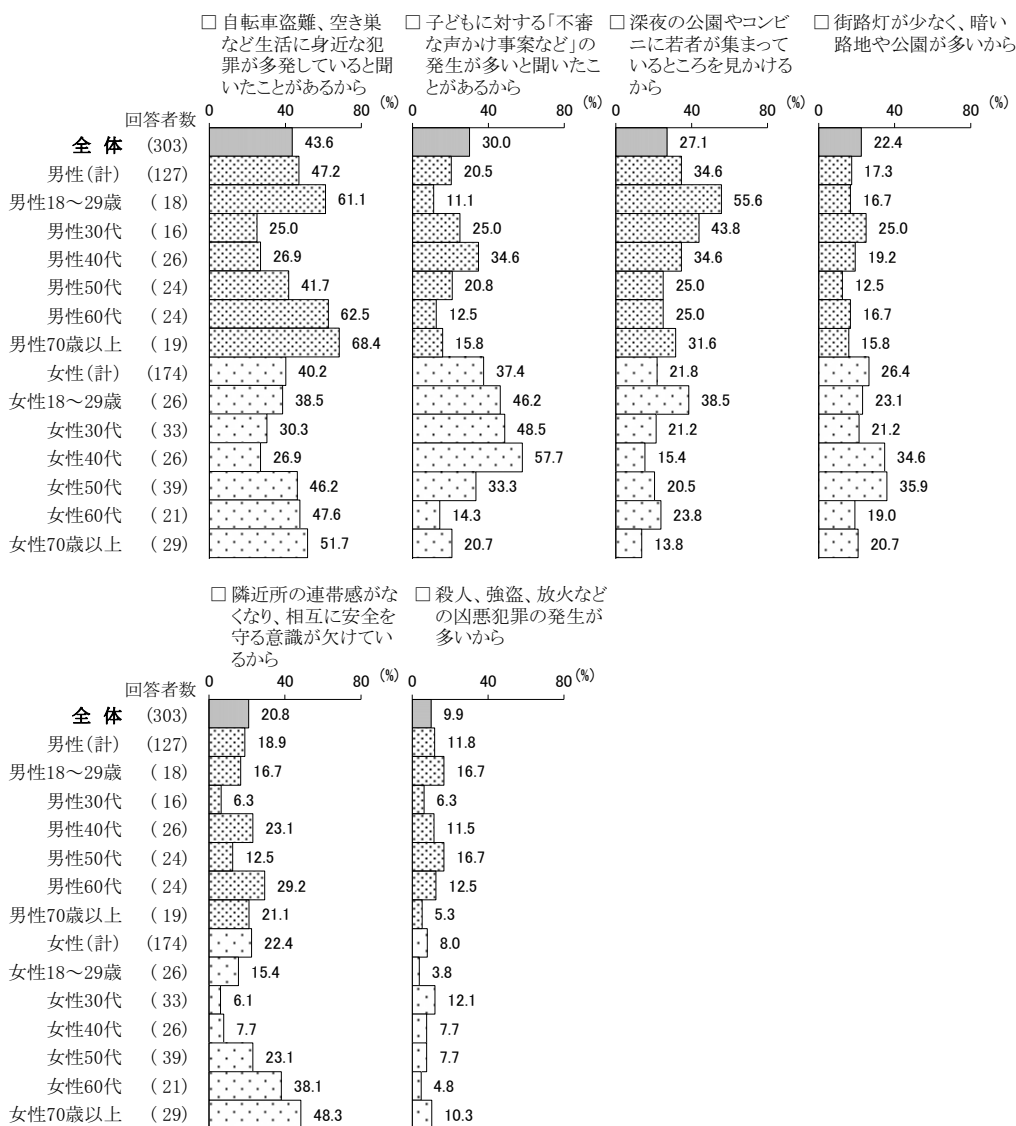
a 「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」

(+16.9ポイント)

b 「街路灯が少なく、暗い路地や公園が多いから」(+9.1ポイント)

(ウ) 性・年代別でみると、多くの性・年代層で回答者数が少ないことから参考値としてみる必要があるが、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は男性の60代、男性の70歳以上で高くなっている。「子どもに対する『不審な声かけ事案など』の発生が多いと聞いたことがあるから」は女性の40代が高く、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」は男性の18～29歳で高くなっている。

図7-7-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点



(8) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

問35 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか  
(○は2つまで)。

■「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」が5割強

ア 単純集計・経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

(ア) 治安対策として足立区に力を入れてほしいことの上位は、以下のとおりとなっている。

- ①「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」(51.9%)
- ②「安全に配慮した道路、公園の整備」(39.2%)
- ③「安全・安心パトロールカー(青パト車)による防犯パトロール」(38.4%)

(イ) 経年でみると、「安全に配慮した道路、公園の整備」は前回調査(42.7%)から3.5ポイント減少しているが、他の項目では特に大きな変動はみられない。

図7-8-1-① 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

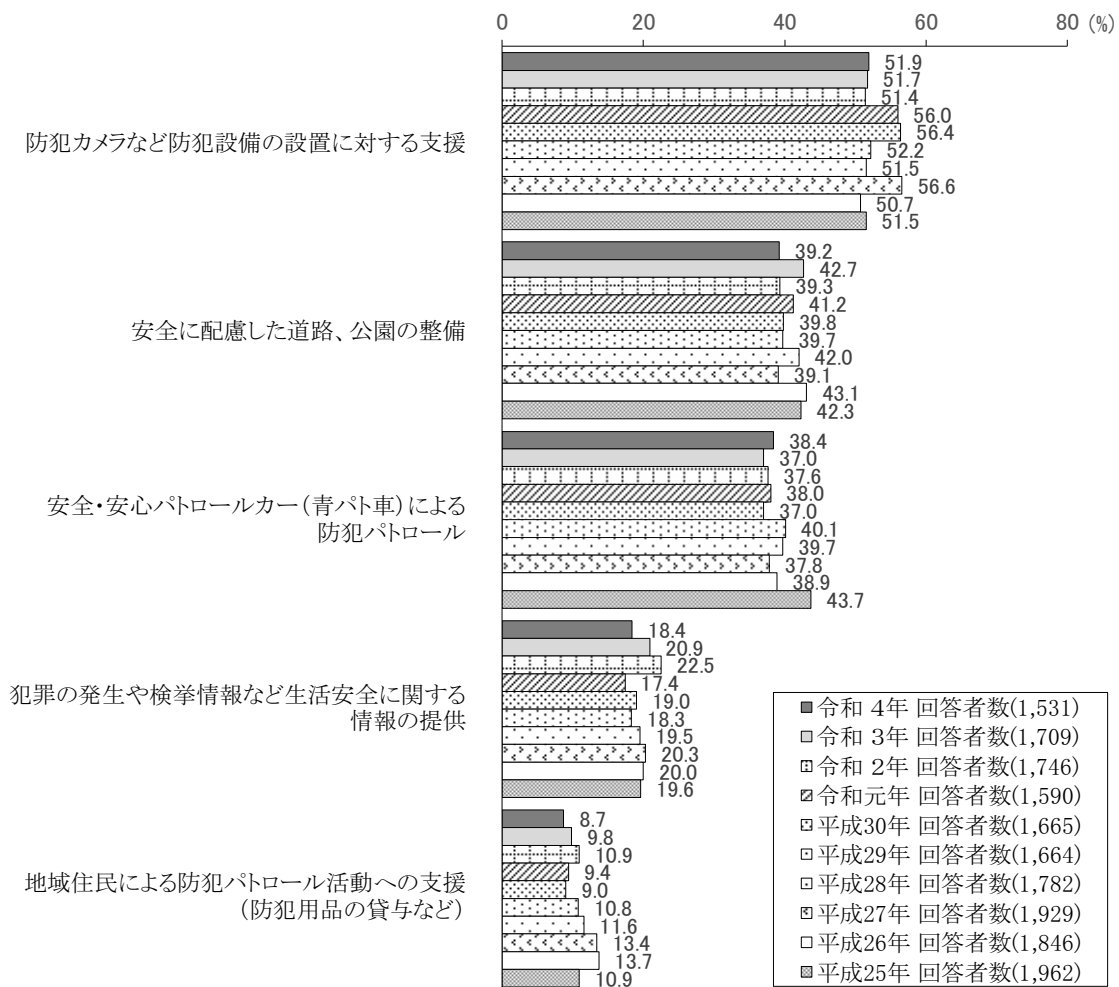
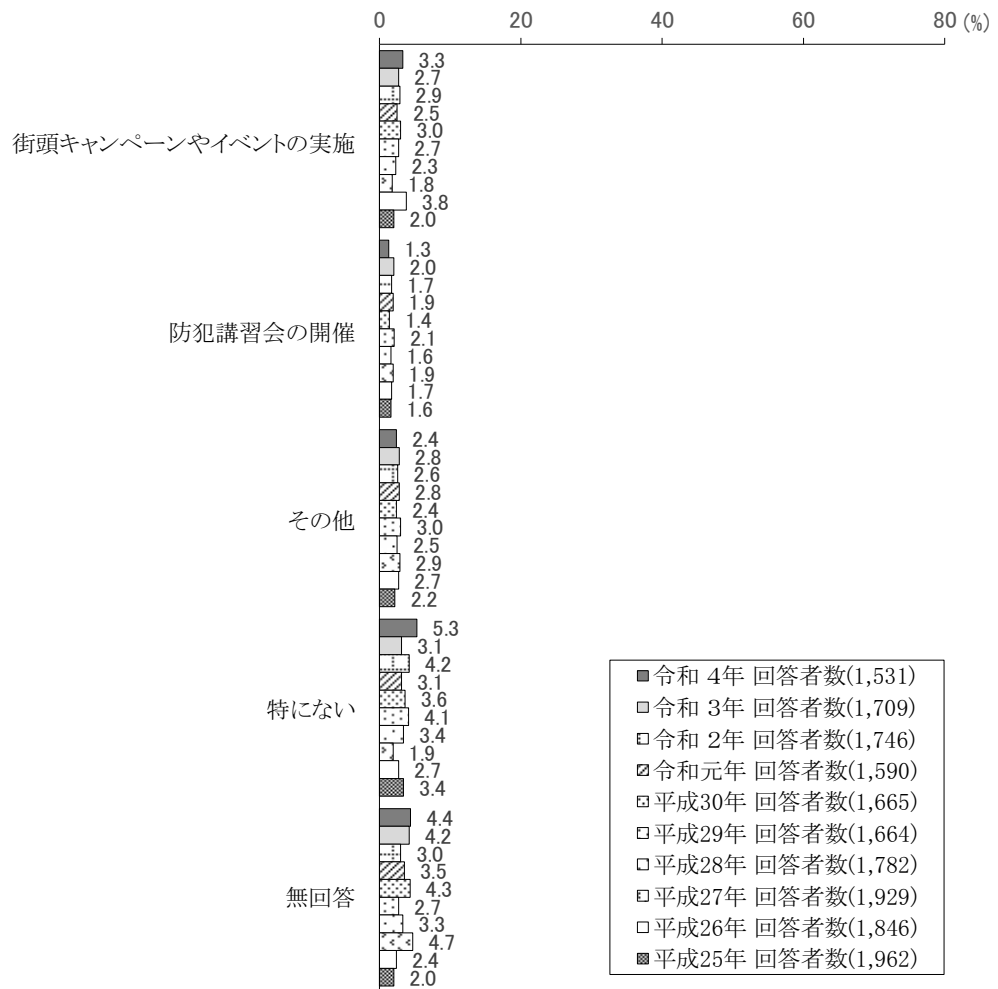


図7-8-1-② 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

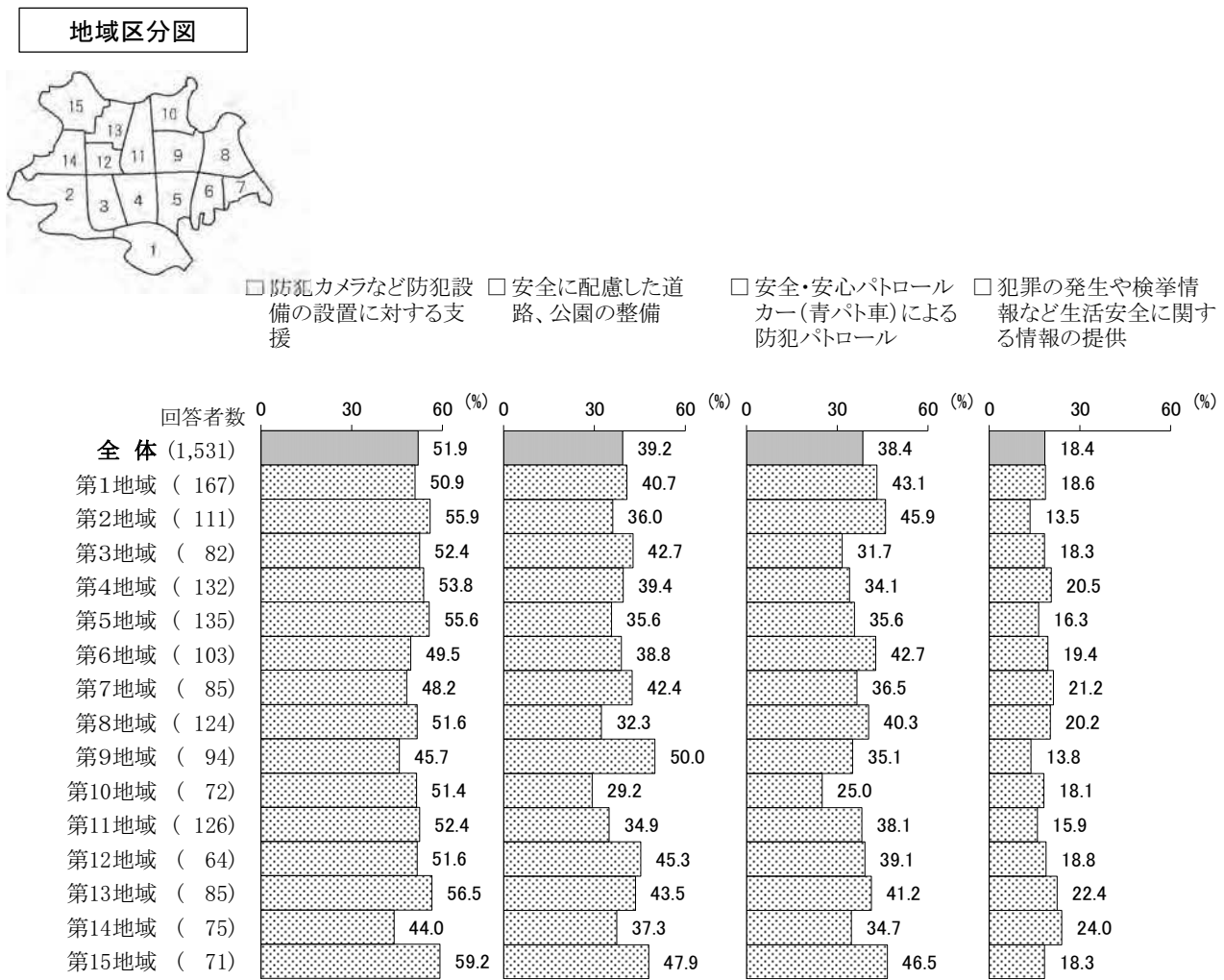


※「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は、平成28年度までは「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」

イ クロス集計・地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと（上位4項目）

地域別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は第15地域で59.2%と最も高く、第14地域（44.0%）で最も低くなっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は第9地域で50.0%と最も高く、第10地域（29.2%）で最も低くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」は第15地域で46.5%と最も高く、第10地域（25.0%）で最も低くなっている。

図7-8-2 地域別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



ウ クロス集計・性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと（上位4項目）

(ア) 性別で見ると女性の方が男性よりも高い項目

a 「安全に配慮した道路、公園の整備」(+4.5ポイント)

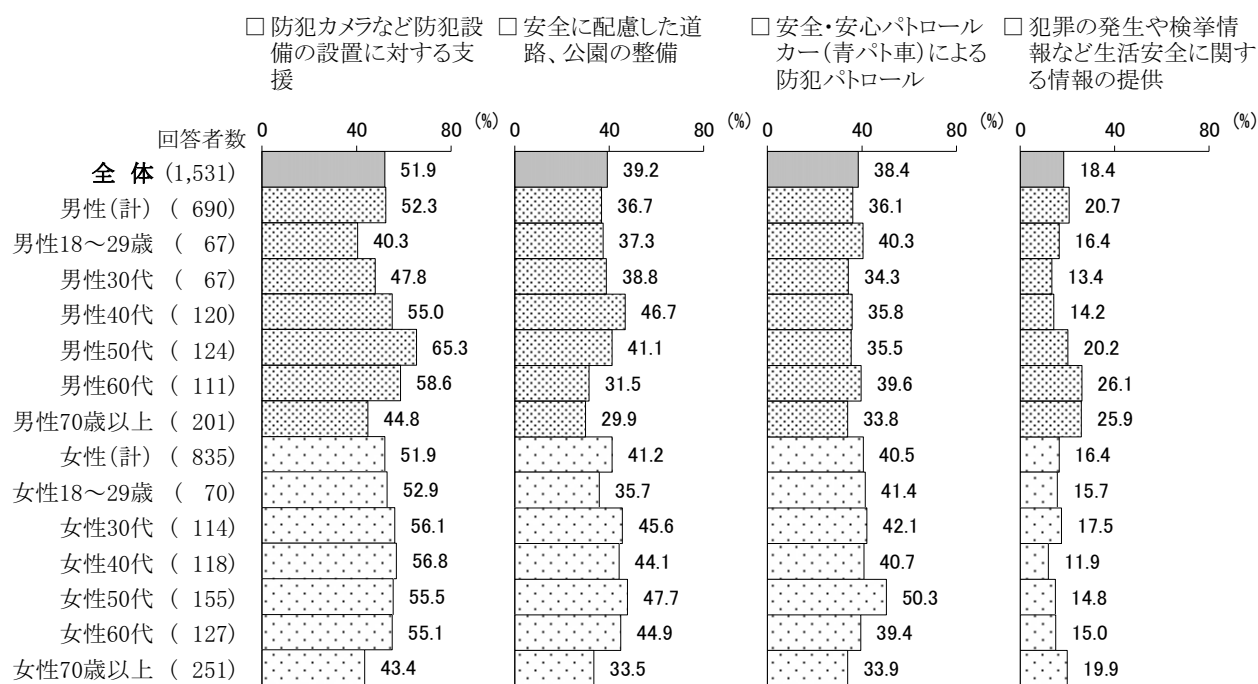
b 「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」(+4.4ポイント)

(イ) 性別で見ると男性の方が女性よりも高い項目

a 「犯罪の発生や検挙情報など生活安全に関する情報の提供」(+4.3ポイント)

(ウ) 性・年代別で見ると、「防犯カメラなど防犯設備の設置に対する支援」は男性の50代で65.3%と最も高くなっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は女性の50代で47.7%と最も高く、「安全・安心パトロールカー（青パト車）による防犯パトロール」でも女性の50代で50.3%と最も高くなっている。

図7-8-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



(9) 駐車時の鍵かけ状況

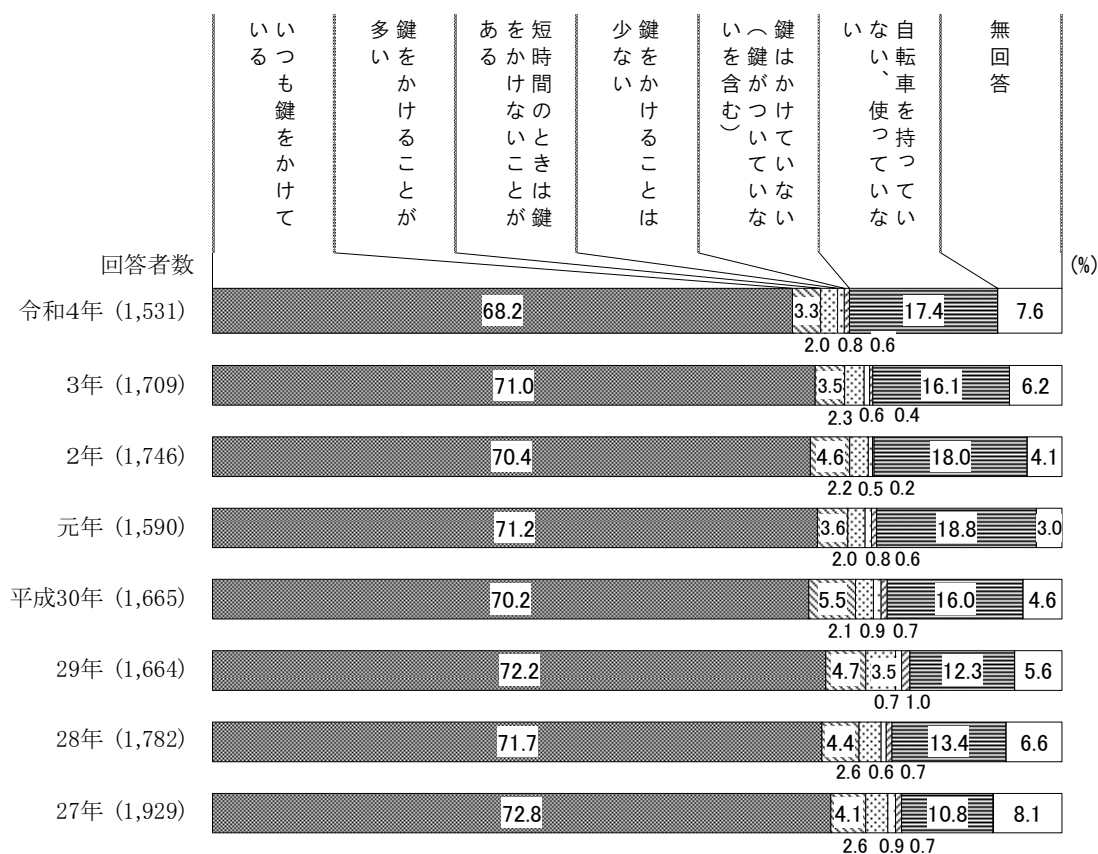
問36 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか  
(○はそれぞれ1つずつ)。

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先が7割弱、敷地内が6割弱と傾向は変わらず

ア 単純集計・経年比較／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

- (ア) 外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況は、「いつも鍵をかけている」が68.2%で、「鍵をかけることが多い」が3.3%となっている。
- (イ) 外出先で自転車を駐車するとき、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は0.6%で、「鍵をかけることは少ない」は0.8%となっている。
- (ウ) 経年でみると、平成27年以降「いつも鍵をかけている」は各年7割から7割強で推移していたが、今回初めて7割をわずかに下回った。

図7-9-1-① 経年比較／駐車時の鍵かけ状況（外出先）



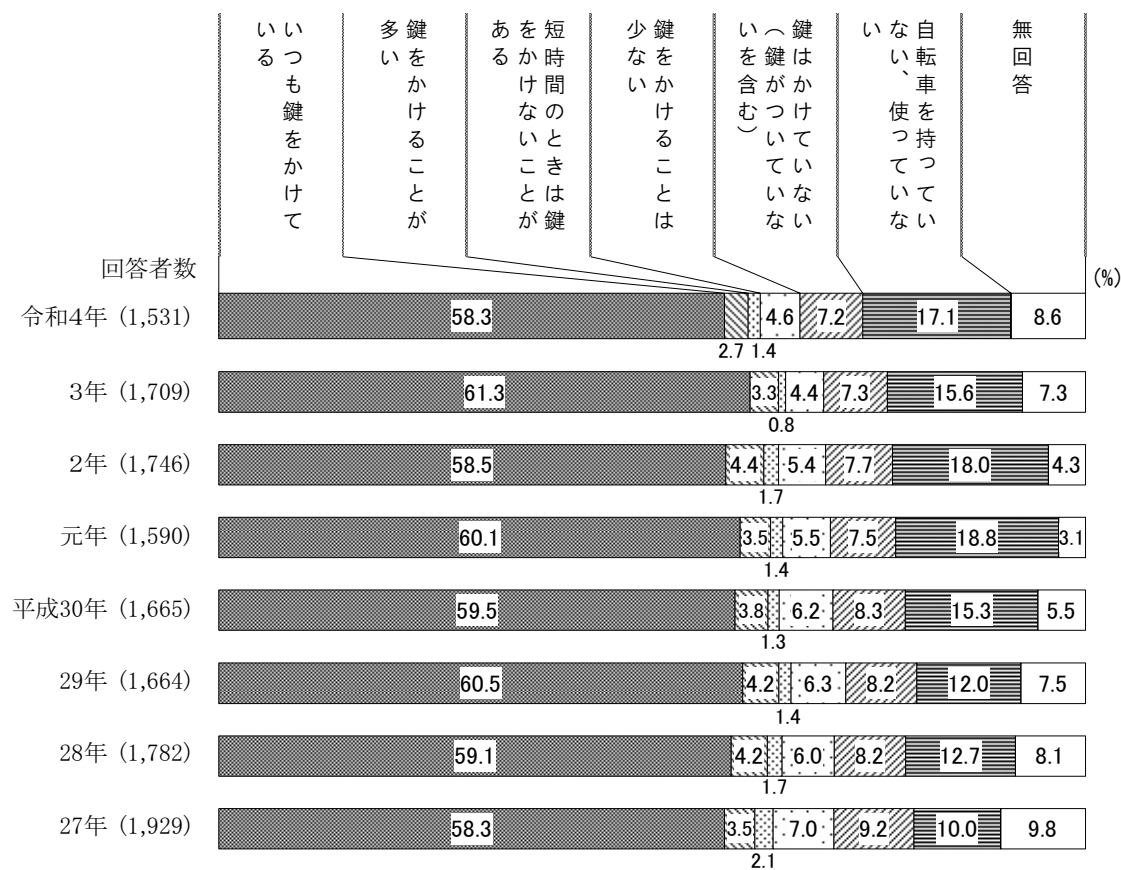
イ 単純集計・経年比較／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

(ア) 自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況は、「いつも鍵をかけている」が58.3%で、「鍵をかけることが多い」が2.7%となっている。

(イ) 自宅等の敷地内に自転車を駐車するとき、「鍵はかけていない(鍵がついていないを含む)」は7.2%で、「鍵をかけることは少ない」は4.6%となっている。

(ウ) 経年でみると、「いつも鍵をかけている」は前回調査（61.3%）に比べて3.0ポイント減少している。

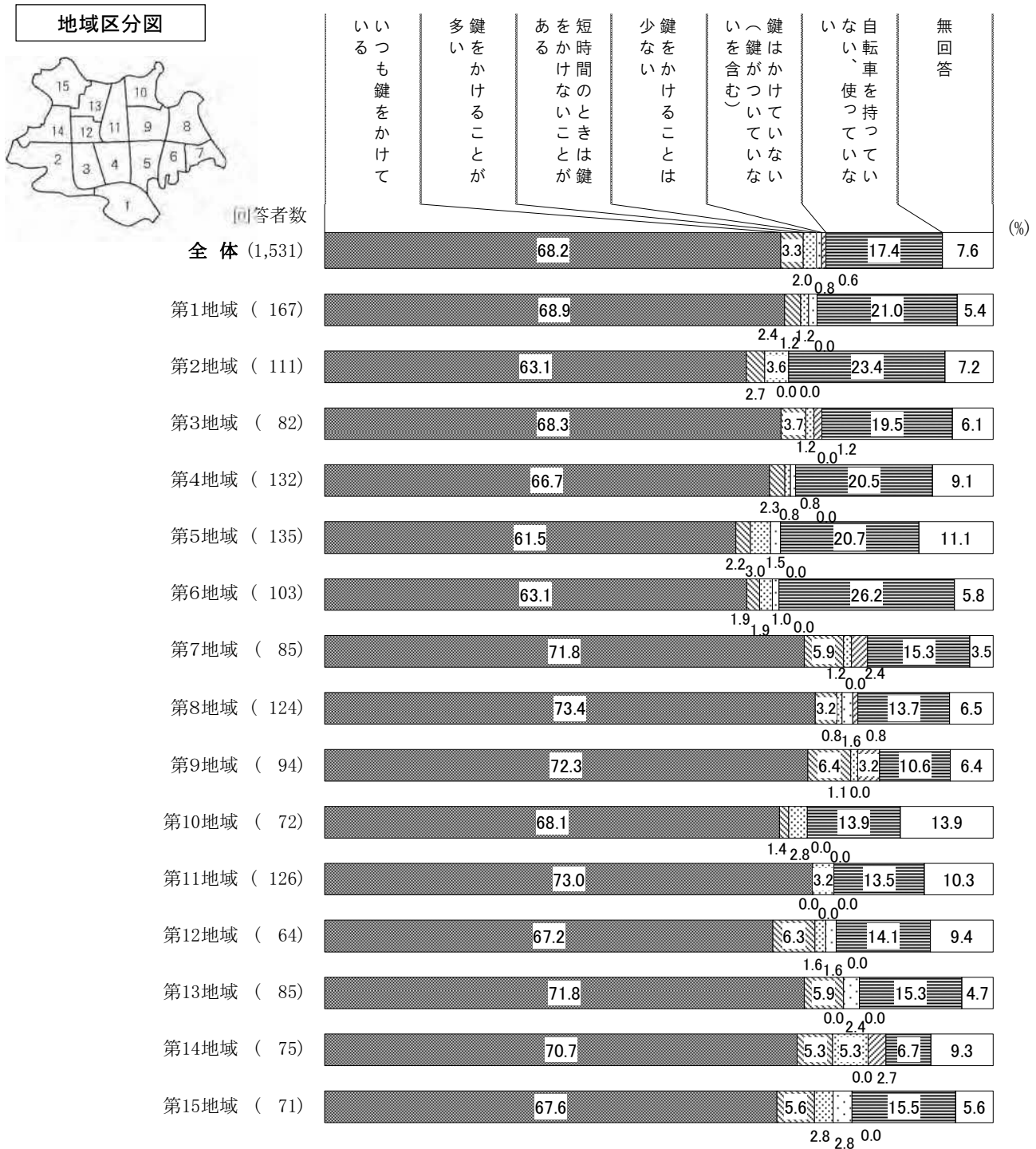
図7-9-1-② 経年比較／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）



ウ クロス集計・地域別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は第8地域が73.4%と最も高く、次いで、第11地域（73.0%）、第9地域（72.3%）などとなっており、第5地域が61.5%で最も低くなっている。なお、「自転車を持っていない、使っていない」は第6地域で26.2%と高くなっている。

図7-9-2-① 地域別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

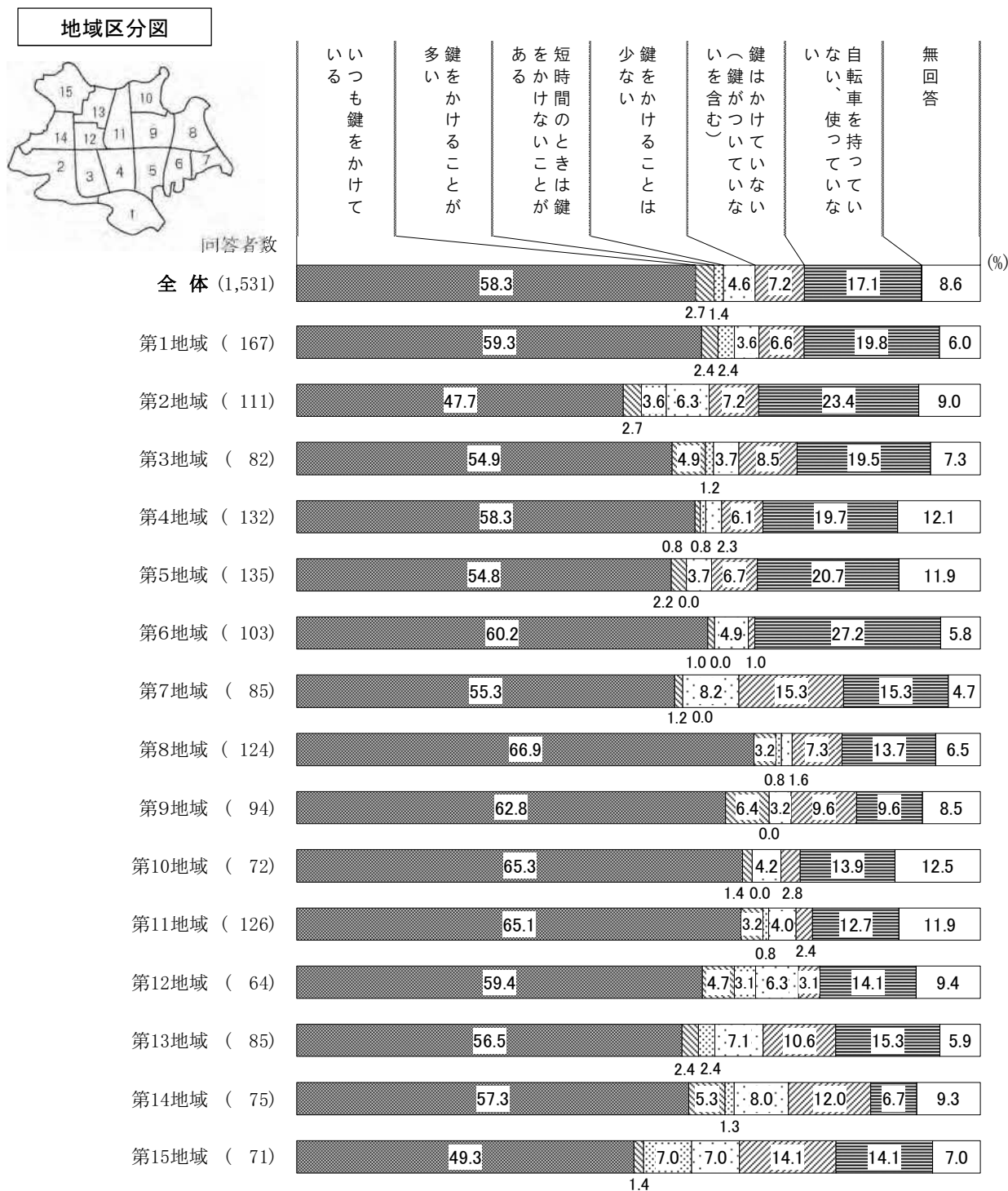




エ クロス集計・地域別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況を地域別にみると、「いつも鍵をかけている」は第8地域で66.9%と最も高く、次いで、第10地域（65.3%）と第11地域（65.1%）が僅差で続いている。第2地域（47.7%）と第15地域（49.3%）が4割台と低くなっている。なお、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）」は、第7地域で15.3%と最も高く、次いで、第15地域（14.1%）となっている。

図7-9-2-② 地域別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

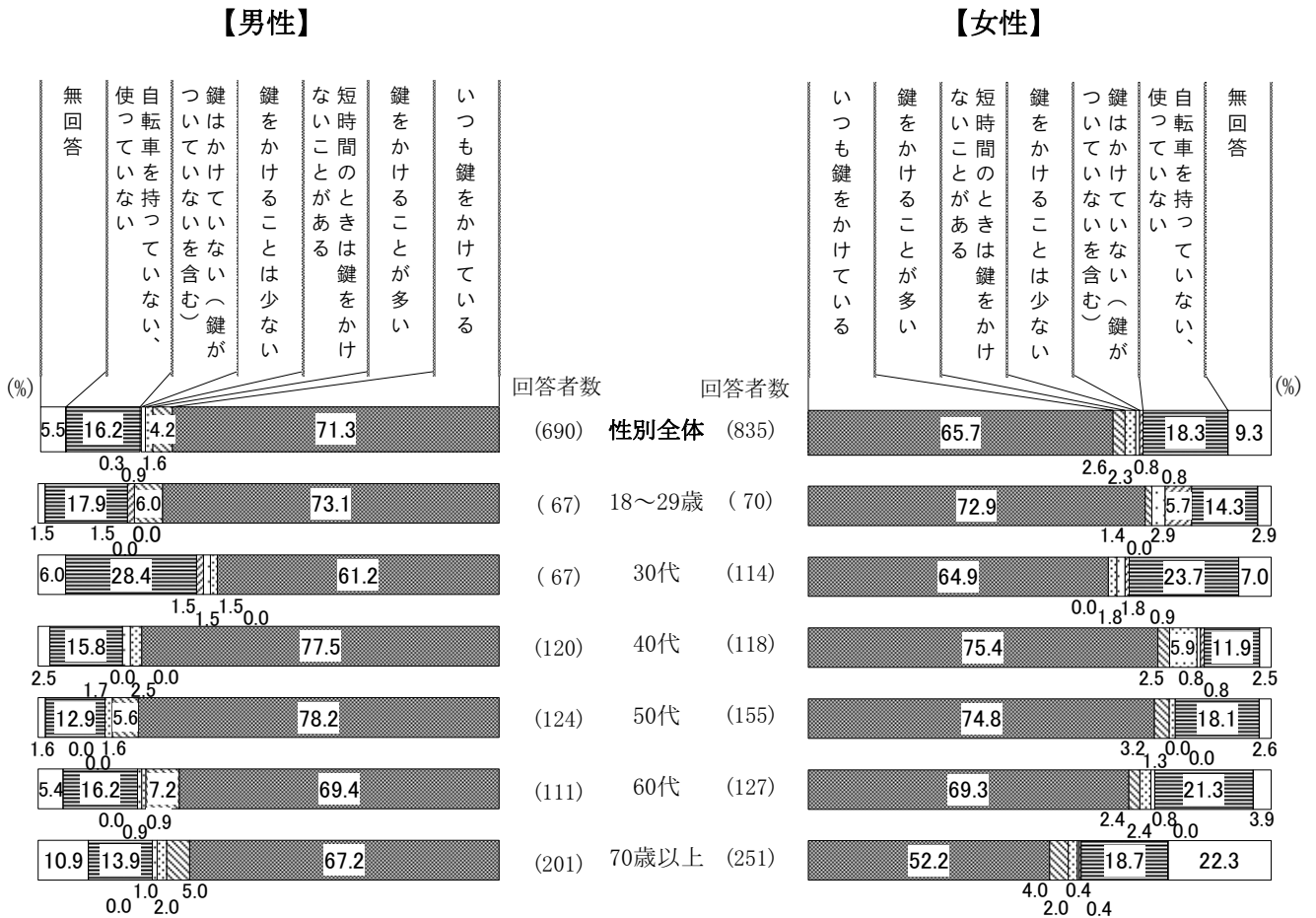


オ クロス集計・性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）

(ア) 外出先で自転車を駐車するときの鍵かけ状況を性別で見ると、「いつも鍵をかけている」は男性（71.3%）の方が女性（65.7%）より5.6ポイント高くなっている。

(イ) 性・年代別で見ると、「いつも鍵をかけている」は、男性の50代で78.2%と最も高く、女性の70歳以上で52.2%と最も低くなっている。

図7-9-3-① 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（外出先）



カ クロス集計・性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

(ア) 自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車するときの鍵かけ状況を性別で見ると、「いつも鍵をかけている」は男性（60.4%）の方が女性（56.8%）より3.6ポイント高く、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）」は性別で特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別で見ると、「いつも鍵をかけている」は、男性の40代で70.8%と最も高く、女性の70歳以上で42.2%と最も低くなっている。一方、「鍵はかけていない（鍵がついていないを含む）」は、女性の40代が14.4%で最も高く、男性の70歳以上と女性の30代がともに3.5%で最も低くなっている。

図7-9-3-② 性別、性・年代別／駐車時の鍵かけ状況（敷地内）

